

(様式第10)

金大第 2022-1037 号  
令和 4年 9月 29日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長  
和田隆志

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立大学法人金沢大学附属病院
----------------

3 所在の場所

〒920-8641 石川県金沢市宝町13番1号
電話( 076 ) 265 - 2000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			
脳神経内科、内分泌・代謝内科			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科	
診療実績							
胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓・移植外科							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科		2小児科		3整形外科		4脳神経外科	
5皮膚科		6泌尿器科		7産婦人科		8産科	
9婦人科		10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科	
13放射線診断科		14放射線治療科		15麻酔科		16救急科	

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科			
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	腫瘍内科	3	腫瘍外科	4	病理診断科	5	リハビリテーション科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
38				792	830

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	392	123	476.1
歯科医師	10	10	16.9
薬剤師	52	2	53.5
保健師	0	0	0
助産師	21	0	21
看護師	857	11	863.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	2	0	2
管理栄養士	7	2	8.5

職種	員数
看護補助者	30
理学療法士	15
作業療法士	7
視能訓練士	11
義肢装具士	0
臨床工学士	17
栄養士	0
歯科技工士	1
診療放射線技師	41

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	58
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	8	
その他の技術員	19	
事務職員	139	
その他の職員	34	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	60	眼科専門医	13
外科専門医	31	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	6	放射線科専門医	34
小児科専門医	19	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	22
泌尿器科専門医	16	麻酔科専門医	20
産婦人科専門医	17	救急科専門医	7
		合計	278

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 蒲田 敏文 ) 任年月日 平成 28 年 4 月 1 日

平成28年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	567.8 人	5.8 人	573.7 人
1日当たり平均外来患者数	1477.3 人	75.0 人	1552.3 人
1日当たり平均調剤数		1046	剤
必要医師数		144.9	人
必要歯科医師数		5	人
必要薬剤師数		20	人
必要(准)看護師数		339	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	462 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	22 床		有	
			人工呼吸装置		有	有
			その他の救急蘇生装置		有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	347	m <sup>2</sup>	病床数	27 床
	[移動式の場合]	台数	17	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	73			m <sup>2</sup>
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	523 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13CO <sub>2</sub> 分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機、マルチカラーフローサイトメトリー			
細菌検査室	94 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡、質量分析装置			
病理検査室	112 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	134 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 無影灯、解剖台、計量器			
研究室	657 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクプロットングシステム、オートクレーブ、クリーンベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト			
講義室	267 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1 室	収容定員	300 人
図書室	166 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	4,400 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	88.9	%	逆紹介率	80.6	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		11,240		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,991		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		889		人
	D: 初診の患者の数		13,642		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
伊藤 透	金沢医科大学病院		医療安全部として医療安全に関する業務に従事しているため	無	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	無	1
和田 真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べることができるため	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
金沢大学附属病院Webサイトに掲載している。	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
LDLアフェレシス療法	3
流産検体を用いた染色体検査	1
先進医療の種類合計	2
扱い患者数合計(人)	4

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	0
陽子線治療	0
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法	1
糞便微生物叢移植	0
先進医療の種類合計数	4
取扱い患者数の合計(人)	1

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	取扱患者数	0
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1 + パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	1
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	51
2	筋萎縮性側索硬化症	10	72	下垂体性ADH分泌異常症	14
3	脊髄性筋萎縮症	0	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
4	原発性側索硬化症	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
5	進行性核上性麻痺	14	75	クッシング病	4
6	パーキンソン病	62	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
7	大脳皮質基底核変性症	2	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	21
8	ハンチントン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	62
9	神経有棘赤血球症	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
10	シャルコー・マリイ・トゥース病	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
11	重症筋無力症	84	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	8
12	先天性筋無力症候群	0	82	先天性副腎低形成症	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	47	83	アジソン病	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	13	84	サルコイドーシス	89
15	封入体筋炎	4	85	特発性間質性肺炎	40
16	クドウ・深瀬症候群	1	86	肺動脈性肺高血圧症	18
17	多系統萎縮症	7	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	17	88	慢性血栓性肺高血圧症	24
19	ライソゾーム病	10	89	リンパ脈管筋腫症	6
20	副腎白質ジストロフィー	0	90	網膜色素変性症	7
21	ミトコンドリア病	4	91	バッド・キアリ症候群	3
22	もやもや病	22	92	特発性門脈圧亢進症	3
23	プリオン病	2	93	原発性胆汁性胆管炎	58
24	亜急性硬化性全脳炎	1	94	原発性硬化性胆管炎	7
25	進行性多巣性白質脳症	0	95	自己免疫性肝炎	26
26	HTLV-1関連脊髄症	0	96	クローン病	144
27	特発性基底核石灰化症	0	97	潰瘍性大腸炎	147
28	全身性アミロイドーシス	28	98	好酸球性消化管疾患	1
29	ウルリッヒ病	0	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
30	遠位型ミオパチー	0	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
31	ベスレムミオパチー	0	101	腸管神経節細胞減少症	0
32	自己食空胞性ミオパチー	0	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	103	CFC症候群	0
34	神経線維腫症	15	104	コステロ症候群	0
35	天疱瘡	14	105	チャーシ症候群	1
36	表皮水疱症	4	106	クリオビリン関連周期熱症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	107	若年性特発性関節炎	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
40	高安静脈炎	25	110	ブラウ症候群	0
41	巨細胞性動脈炎	6	111	先天性ミオパチー	1
42	結節性多発動脈炎	20	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
43	顕微鏡的多発血管炎	21	113	筋ジストロフィー	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	18	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	18	115	遺伝性周期性四肢麻痺	1
46	悪性関節リウマチ	11	116	アトピー性脊髄炎	0
47	パージャー病	11	117	脊髄空洞症	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	8	118	脊髄髄膜瘤	1
49	全身性エリテマトーデス	264	119	アイザックス症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	148	120	遺伝性ジストニア	0
51	全身性強皮症	344	121	神経フェリチン症	0
52	混合性結合組織病	40	122	脳表ヘモジドリン沈着症	0
53	シェーグレン症候群	55	123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
54	成人スチル病	22	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0
55	再発性多発軟骨炎	3	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1
56	ベーチェット病	56	126	ペリー症候群	0
57	特発性拡張型心筋症	30	127	前頭側頭葉変性症	0
58	肥大型心筋症	20	128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0
59	拘束型心筋症	0	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0
60	再生不良性貧血	97	130	先天性無痛無汗症	0
61	自己免疫性溶血性貧血	2	131	アレキサンダー病	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4	132	先天性核上性球麻痺	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	38	133	メビウス症候群	0
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
65	原発性免疫不全症候群	16	135	アイカルディ症候群	0
66	IgA腎症	27	136	片側巨脳症	0
67	多発性嚢胞腎	15	137	限局性皮質異形成	0
68	黄色靱帯骨化症	12	138	神経細胞移動異常症	0
69	後縦靱帯骨化症	60	139	先天性大脳白質形成不全症	0
70	広範脊柱管狭窄症	2	140	ドラベ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
141	海馬硬化を伴う内側頭葉てんかん	0	212	三尖弁閉鎖症	2
142	ミオクローニア欠伸てんかん	0	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
143	ミオクローニア脱力発作を伴うてんかん	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	215	ファロー四徴症	0
145	ウエスト症候群	0	216	両大血管右室起始症	0
146	大田原症候群	1	217	エプスタイン病	0
147	早期ミオクローニア脳症	1	218	アルポート症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	219	ギャロウェイ・モフト症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	220	急速進行性糸球体腎炎	1
150	環状20番染色体症候群	0	221	抗糸球体基底膜腎炎	2
151	ラスムッセン脳炎	0	222	一次性ネフローゼ症候群	21
152	PCDH19関連症候群	0	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	224	紫斑病性腎炎	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	225	先天性腎性尿崩症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2
156	レット症候群	0	227	オスラー病	2
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	228	閉塞性細気管支炎	1
158	結節性硬化症	1	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2
159	色素性乾皮症	0	230	肺胞低換気症候群	0
160	先天性魚鱗癬	1	231	1-アンチトリプシン欠乏症	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	232	カーニー複合	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14	233	ウォルフラム症候群	0
163	特発性後天性全身性無汗症	5	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
164	眼皮膚白皮症	0	235	副甲状腺機能低下症	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
167	マルファン症候群	4	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
168	エーラス・ダンロス症候群	0	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
169	メンケス病	0	240	フェニルケトン尿症	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	241	高チロシン血症1型	0
171	ウィルソン病	4	242	高チロシン血症2型	0
172	低ホスファターゼ症	0	243	高チロシン血症3型	0
173	VATER症候群	0	244	メーブルシロップ尿症	0
174	那須・ハコラ病	0	245	プロピオン酸血症	0
175	ウィーバー症候群	0	246	メチルマロン酸血症	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	247	イソ吉草酸血症	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0	248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	249	グルタル酸血症1型	0
179	ウィリアムズ症候群	1	250	グルタル酸血症2型	0
180	ATR-X症候群	0	251	尿素サイクル異常症	0
181	クルーゾン症候群	0	252	リジン尿性蛋白不耐症	0
182	アペール症候群	0	253	先天性葉酸吸収不全	0
183	ファイファー症候群	0	254	ポルフィリン症	1
184	アントレー・ピクスラー症候群	0	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
185	コフィン・シリズ症候群	0	256	筋型糖原病	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	257	肝型糖原病	0
187	歌舞伎症候群	0	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
188	多脾症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
189	無脾症候群	0	260	シトステロール血症	1
190	鰓耳腎症候群	0	261	タンジール病	1
191	ウェルナー症候群	1	262	原発性高カイロミクロン血症	0
192	コケイン症候群	0	263	脳髄黄色腫症	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0	264	無リポタンパク血症	0
194	ソトス症候群	0	265	脂肪萎縮症	0
195	ヌーナン症候群	0	266	家族性地中海熱	1
196	ヤング・シンブソン症候群	0	267	高IgD症候群	0
197	1p36欠失症候群	0	268	中條・西村症候群	0
198	4p欠失症候群	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
199	5p欠失症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	271	強直性脊椎炎	25
201	アンジェルマン症候群	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
202	スマス・マギニス症候群	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
203	22q11.2欠失症候群	1	274	骨形成不全症	0
204	エマヌエル症候群	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	276	軟骨無形成症	1
206	脆弱X症候群	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
207	総動脈幹遺残症	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
208	修正大血管転位症	2	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病)	1
209	完全大血管転位症	0	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
210	単心室症	0	281	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	0
211	左心低形成症候群	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
283	後天性赤芽球癆	1	311	先天性三尖弁狭窄症	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
285	ファンコニ貧血	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
287	エプスタイン症候群	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0	316	カルニチン回路異常症	0
289	クローンカイト・カナダ症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	318	シトリン欠損症	0
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0	319	セピアテリン還元酵素(SR)欠損症	0
292	総排泄腔外反症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
293	総排泄腔遺残	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	322	ケチオラーゼ欠損症	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
296	胆道閉鎖症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
297	アラジール症候群	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
298	遺伝性膝炎	0	326	大理石骨病	0
299	嚢胞性線維症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	6
300	IgG4関連疾患	26	328	前眼部形成異常	1
301	黄斑ジストロフィー	0	329	無虹彩症	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
303	アッシャー症候群	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	8
304	若年発症型両側性感音難聴	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
306	好酸球性副鼻腔炎	13	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
307	カナバン病	0	335	ネフロン癆	0
308	進行性白質脳症	0	336	家族性低リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	337	ホモシスチン尿症	0
310	先天異常症候群	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	126
合計患者数(人)	2680

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・報告書管理体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算1,2	・後発医薬品使用体制加算3
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算1 30対1	・データ提出加算
・急性期看護補助体制加算 50対1	・入退院支援加算1
・看護職員夜間配置加算 12対1	・入院時支援加算
・療養環境加算	・地域連携診療計画加算
・重症者等療養環境特別加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算1,2	・精神疾患診療体制加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・精神科急性期医師配置加算
・緩和ケア診療加算	・排尿自立支援加算
・精神科応急入院施設管理加算	・地域医療体制確保加算
・精神病棟入院時医学管理加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・特定集中治療室管理料の注1に規定する算定上限日数に関する基準
・摂食障害入院医療管理加算	・早期栄養介入管理加算
・栄養サポートチーム加算	・早期離床・リハビリテーション加算
・医療安全対策加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・感染対策向上加算1	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・感染対策向上加算の注2に規定する指導強化加算	2. 新生児集中治療室管理料
・患者サポート体制充実加算	・新生児治療回復室入院医療管理料



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料(注3に掲げるがん専門管理栄養士が栄養食事指導を行う場合)	・がん治療連携管理料
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・外来排尿自立指導料
・高度難聴指導管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・地域連携診療計画加算
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料ロ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ハ	・医療機器安全管理料(歯科)
・外来緩和ケア管理料	・精神科退院時共同指導料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療総合医療管理料及び歯科治療総合医療管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・禁煙治療補助システム指導管理加算
・糖尿病透析予防指導管理料	・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
・高度腎機能障害患者指導加算	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・腎代替療法指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・一般不妊治療管理料	・造血器腫瘍遺伝子検査
・二次性骨折予防継続管理料1	・遺伝学的検査
・二次性骨折予防継続管理料3	・骨髄微小残存病変量測定
・院内トリアージ実施料	・染色体検査の注2に規定する基準
・外来リハビリテーション診療料	・BRCA1/2遺伝子検査
・外来放射線照射診療料	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)
・外来腫瘍化学療法診療料の注6に規定する連携充実加算	・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・ニコチン依存症管理料	・先天性代謝異常症検査
・がん治療連携計画策定料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・CT撮影及びMRI撮影
・検体検査管理加算( )	・冠動脈CT撮影加算
・国際標準検査管理加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・遺伝カウンセリング加算	・大腸CT撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・乳房MRI撮影加算
・植込型心電図検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・頭部MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・全身MRI撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・肝エラストグラフィ加算
・人工臓器検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・皮下連続式グルコース測定	・外来化学療法加算1
・長期継続頭蓋内脳波検査	・連携充実加算
・神経学的検査	・無菌製剤処理料
・補聴器適合検査	・心大血管疾患リハビリテーション料( )
・黄斑局所網膜電図	・脳血管疾患等リハビリテーション料( )
・全視野精密網膜電図	・運動器リハビリテーション料( )
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料( )
・小児食物アレルギー負荷検査	・がん患者リハビリテーション料
・内服・点滴誘発試験	・歯科口腔リハビリテーション料2
・センチネルリンパ節生検(片側)	・療養生活継続支援加算
・口腔細菌定量検査	・救急患者精神科継続支援料
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・精神科作業療法
・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・画像診断管理加算3	・医療保護入院等診療料
・遠隔画像診断	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術 型(拡大副鼻腔手術)
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・一酸化窒素吸入療法	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・CAD/CAM冠	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、及び下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・顎関節人工関節全置換術(歯科)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・椎間板内酵素注入療法	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1、又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・羊膜移植術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法))	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	
・網膜再建術	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的冠動脈形成術	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・経皮的冠動脈ステント留置術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胸腔鏡下弁形成術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・胸腔鏡下弁置換術	・体外衝撃波胆石破碎術
・経皮的カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下肝切除術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・生体部分肝移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・同種死体肝移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・体外衝撃波膵石破碎術(一連につき)
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術 腹腔鏡下膵頭十二指腸部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・経皮的下肢動脈形成術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的大動脈遮断術	・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・ダメージコントロール手術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種死体腎移植術

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・膀胱水圧拡張術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・体外式膜型人工肺管理料	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部通則4を含む。)に掲げる手術	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・医科点数表第2章第10部 手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・
・医科点数表第2章第10部 手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。)	・
・輸血管理料	・
・コーディネート体制充実加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料( )	・
・麻酔管理料( )	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・LDLアフェレシス療法	・
・流産検体を用いた染色体検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月14回	
剖検の状況	剖検症例数(例)	31
	剖検率(%)	13.1

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝硬変における炎症細胞社会の解明	金子 周一	医薬保健研究域医学系	13,800,000	補委 日本学術振興会
進行性腎障害における慢性炎症の意義とそれに立脚した分子予防学の構築	和田 隆志	事務局	11,100,000	補委 日本学術振興会
自閉スペクトラム症幼児における意図共有の脳内基盤と初期の言語獲得過程の関連	吉村 優子	学校教育系	1,500,000	補委 日本学術振興会
肝微小環境の構造理解に基づく新たな代謝性肝疾患治療の確立	本多 政夫	医薬保健研究域保健学系	5,800,000	補委 日本学術振興会
新規胚シグナルlaeverinの幹細胞と免疫システムに対する作用の解明と臨床応用	藤原 浩	医薬保健研究域医学系	3,800,000	補委 日本学術振興会
酸化・還元バランスの破綻による糖尿病病態形成機構の解明	篁 俊成	医薬保健研究域医学系	1,900,000	補委 日本学術振興会
キラルアミノ酸による糖尿病性腎症の病態解明と新規バイオマーカー開発	和田 隆志	事務局	1,900,000	補委 日本学術振興会
統合失調症の抑制性介在ニューロン変化へのμ型オピオイド受容体の関与	橋本 隆紀	医薬保健研究域医学系	3,900,000	補委 日本学術振興会
高リスク化学療法不応性神経芽腫に対する新治療戦略の開発	絹谷 清剛	医薬保健研究域医学系	3,850,000	補委 日本学術振興会
分子標的薬で肺がんの根治を目指す治療の非臨床研究基盤の形成	矢野 聖二	がん進展制御研究所	3,600,000	補委 日本学術振興会
自閉スペクトラム症幼児の脳活動の機能別特徴に対応する症状多様性の検討	菊知 充	医薬保健研究域医学系	3,300,000	補委 日本学術振興会
分子疫学的コホート研究による遺伝性心血管疾患のリスク層別化・病態解明・治療薬探索	藤野 陽	医薬保健研究域保健学系	3,410,000	補委 日本学術振興会
ナトリウム共役能動輸送型糖輸送体を標的としたセラノスティクス薬剤の開発	小林 正和	医薬保健研究域保健学系	3,500,000	補委 日本学術振興会
深層学習による画像情報を主軸にした包括的な肺機能診断法の確立	田中 利恵	AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター(保)	4,800,000	補委 日本学術振興会
肝細胞がんにおける多細胞間相互作用の解明による新規がん免疫療法開発の基盤研究	水腰 英四郎	医薬保健研究域医学系	6,300,000	補委 日本学術振興会
上皮・間葉系肝癌幹細胞による間質細胞リプログラミングの解明とその診断治療への応用	山下 太郎	附属病院	4,900,000	補委 日本学術振興会
治療後微小残存する白血病幹細胞に対する新規治療標的の開発	宮本 敏浩	医薬保健研究域医学系	7,000,000	補委 日本学術振興会
臓器移植・造血幹細胞移植におけるHLAエピトープに基づく新規バイオマーカー開発	八木 真太郎	医薬保健研究域医学系	3,200,000	補委 日本学術振興会
遺伝子発現シグネチャーによる頭頸部癌局所リンパ構造の免疫・ニッチ機構の解明	脇坂 尚宏	医薬保健研究域医学系	2,500,000	補委 日本学術振興会
地域住民コホートゲノム情報及び生活習慣情報を用いた動脈硬化性疾患個別化医療の開発	高村 雅之	医薬保健研究域医学系	3,000,000	補委 日本学術振興会
言語機能回復に伴う脳内ネットワーク再組織化の構造的メカニズムの解明	中嶋 理帆	医薬保健研究域保健学系	4,000,000	補委 日本学術振興会
地域高齢者におけるプレクニカルCAAに関する前向き縦断研究	篠原 もえ子	医薬保健学総合研究科	180,000	補委 日本学術振興会
自閉スペクトラム症児における音韻処理の神経基盤と学齢期の読み書き能力の関連	吉村 優子	学校教育系	700,000	補委 日本学術振興会
感情障害における感情認識と感情制御の連関と神経基盤の因果的役割	吉村 晋平	人間科学系	1,300,000	補委 日本学術振興会
神経筋難病患者の薬物動態変動に及ぼす筋肉量減少の影響の定量的解明	松下 良	薬学系	650,000	補委 日本学術振興会
加齢による薬物体内動態の個人間変動予測の新機軸	崔 吉道	附属病院	650,000	補委 日本学術振興会
血中遊離DNA遺伝子変異プロファイルを用いたがん患者モニタリング法の確立	木村 英晴	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
エンベロープ変換レンチウイルスを用いた新規遺伝子治療前臨床試験モデルの樹立	伊川 泰広	医薬保健研究域医学系	700,000	補委 日本学術振興会
脳アミロイドタンゴバチー関連炎症動物モデルの作成と病態解析	坂井 健二	附属病院	1,500,000	補委 日本学術振興会
膜障害に焦点を当てた高分子A オリゴマーの毒性機序に関する検討	小野 賢二郎	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
IVRとナノメディシンの併用によるがんターゲットングおよび微小環境の制御	香田 渉	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委 日本学術振興会
分化型甲状腺癌に対する放射性ヨウ素内用療法 of 超早期治療効果予測	萱野 大樹	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
テクスチャ解析によるビッグデータを用いたMRIによる前立腺癌診断能の向上	吉田 耕太郎	附属病院	400,000	補委 日本学術振興会
新生児へモクロマトーシスの原因となるアロ抗体の同定と病態発症機序の解明	谷内江 昭宏	附属病院	400,000	補委 日本学術振興会
CD271陽性エリト細胞を標的とした肺高血圧症に対する新規治療開発	薄井 荘一郎	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
網羅的遺伝子解析技術を用いた家族性高コレステロール血症の遺伝子診断	川尻 剛照	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委 日本学術振興会
ヒト筋生検検体を用いたRNA-Seqによる心臓サルコイドーシスの病態解明	吉田 昌平	附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
網羅的遺伝子解析によるリポ蛋白(a)代謝新規関連分子の探索とその機能解析	多田 隼人	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
サイトカイン産生B細胞の制御による強皮症の新規治療法の開発	松下 貴史	医薬保健研究域医学系	700,000	補委 日本学術振興会
連続肝生検組織を用いた非アルコール性脂肪性肝疾患の病理進展因子の同定	竹下 有美枝	医薬保健研究域医学系	500,000	補委 日本学術振興会
胃癌腫瘍播種における脂質代謝変容の解明と標的治療への応用	木下 淳	医薬保健研究域医学系	700,000	補委 日本学術振興会
ラットHUSモデルにおける新たな治療法の検討	栗田 昭英	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
DICにおける病型別の炎症と凝固の相互作用と血管作動性物質の意義	朝倉 英策	附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
広範囲脊椎固定におけるインプラント緩み抑制のための新たな生体材料・固定方法の模索	出村 諭	附属病院	200,000	補委 日本学術振興会
生体内分子イメージングによる肉腫進展機序の解明	土屋 弘行	医薬保健研究域医学系	650,000	補委 日本学術振興会
糖尿病による骨癒合遅延を解消する挑戦的治療の開発	松原 秀憲	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
Y染色体微小重複が男性不妊症に与える影響 - Y染色体は微小欠失だけではない -	飯島 将司	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
シデルベンによる前立腺癌進展制御機構の解明と新規化合物の開発	泉 浩二	附属病院	500,000	補委 日本学術振興会
ARシグナルの遮断によって活性化する前立腺癌増悪因子の探索と転移指向性の解明	野原 隆弘	附属病院	100,000	補委 日本学術振興会
凝固系をターゲットとした卵巣癌腫瘍播種機序の解明と治療戦略に関する基礎的研究	水本 泰成	医薬保健研究域医学系	700,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌に対する癌代謝制御に基づく革新的治療技術の確立	遠藤 一平	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
PAX2へテロ遺伝子異常から読み解く内耳発生機構	杉本 寿史	附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
新しい角膜内皮移植術(DMEK)の合併症の克服と術後角膜の生体組織学的特長の解析	小林 顕	医薬保健研究域医学系	500,000	補委 日本学術振興会
末梢動脈疾患ハイリスク患者への振動ケアがもたらす重症虚血移行遅延効果の検討	大桑 麻由美	医薬保健研究域保健学系	340,000	補委 日本学術振興会
手の運動調節能と上肢パフォーマンス能力及び筋活動の関連性に関する研究	西村 誠次	医薬保健研究域保健学系	275,000	補委 日本学術振興会
胸部・腰部・骨盤の3次元変位装置を用いた介助動作解析	柴田 克之	医薬保健研究域保健学系	200,000	補委 日本学術振興会
力学的尺度で痙攣を評価する試みと、その計測装置開発のための研究	八幡 徹太郎	附属病院	400,000	補委 日本学術振興会
行動柔軟性における大脳基底核と小脳の連関に関するリハビリテーション技術の基礎研究	米田 貢	医薬保健研究域保健学系	550,000	補委 日本学術振興会
一般住民への食生活介入の高尿酸血症及び慢性腎臓病に対する1次予防効果の検討	宮城 栄重	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
マクロファージ極性をM2へと導く新規転写因子の機能解明と生活習慣病創薬への展開	永島田 まゆみ	医薬保健研究域保健学系	1,000,000	補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線治療における変形画像照合技術を用いた線量合算精度の評価手法確立	武村 哲浩	医薬保健研究域保健学系	700,000	③補委 日本学術振興会
急性期病院での高齢患者のせん妄の早期発見・介入を目指した心理的支援モデルの構築	水上 喜美子	医薬保健研究域医学系	450,000	③補委 日本学術振興会
HSF-1 が関与する中枢神経再生へのカスケード反応	杉谷 加代	医薬保健研究域保健学系	700,000	③補委 日本学術振興会
DICの多発血栓形成プロセスで鍵となる線溶病態の解明と新規治療戦略の提案	菅 幸生	薬学系	1,100,000	③補委 日本学術振興会
病態背景が経皮吸収型製剤の経皮アペイラビリティにおよぼす影響	嶋田 努	附属病院	775,000	③補委 日本学術振興会
アルツハイマー病の医原性伝播の分子病態解明と予防法の開発	濱口 毅	医薬保健研究域医学系	1,050,000	③補委 日本学術振興会
人工知能を用いた機能画像と臨床情報の統合による高性能診断予後評価モデルの構築	中嶋 憲一	先進予防医学研究科	1,100,000	③補委 日本学術振興会
MRIと深層学習を併用した新規乳癌悪性度解析法の確立: オーダーメイド治療への展開	川島 博子	医薬保健研究域保健学系	450,000	③補委 日本学術振興会
転移性肝癌に対する陽子線治療後画像変化と治療効果判定方法の研究	高松 繁行	附属病院	500,000	③補委 日本学術振興会
心筋梗塞後の病態変化と左室リモデリングに関する生体シグマ-1受容体イメージング	瀧 淳一	医薬保健研究域医学系	900,000	③補委 日本学術振興会
悪性腫瘍におけるテロメア伸長及び放射線内照射治療への影響に関する研究	稲木 杏史	附属病院	1,050,000	③補委 日本学術振興会
フローサイトメトリーを用いたI-131 MIBG治療後骨髄抑制予測法の確立	若林 大志	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
肺癌腫瘍内微小環境に着目した術後予後予測に関する新規画像バイオマーカーの確立	井上 大	附属病院	1,200,000	③補委 日本学術振興会
血中IL-18の異常高値で特徴付けられる疾患群の病態解明と治療法開発	和田 泰三	医薬保健研究域医学系	1,300,000	③補委 日本学術振興会
腸内細菌叢関連凝固異常を標的とした難治性門脈血栓症の治療法の開発	鷹取 元	附属病院	700,000	③補委 日本学術振興会
ALK肺がんのアポトーシス抵抗性因子を標的とした新規治療の開発	竹内 伸司	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
薬物療法が与える免疫原性細胞死の評価	笠原 寿郎	医薬保健研究域医学系	1,000,000	③補委 日本学術振興会
線維化組織微小環境の制御による慢性腎臓病進展機序の解明と臨床応用	坂井 宣彦	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
自己免疫性造血不全における新たな免疫回避機構による造血制御変容の基盤的解明	片桐 孝和	医薬保健研究域保健学系	1,100,000	③補委 日本学術振興会
トロンボポエチン受容体作動薬ロミプロスタムの造血への影響とDNA修復効果の検証	石山 謙	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
SLIT有効性機序のIgG親和性成熟の解明と抗体誘導型舌下ワクチンのPOC取得	渡部 良広	附属病院	1,200,000	③補委 日本学術振興会
消化器癌におけるNa <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> 交換輸送体5の機能解析と特異的阻害薬の開発	二宮 致	附属病院	300,000	③補委 日本学術振興会
大動脈解離に対する腹部分枝再建可能なre-entry閉鎖用ステントグラフトの開発	木村 圭一	附属病院	700,000	③補委 日本学術振興会
覚醒下脳手術による意欲関連ネットワークの解明	木下 雅史	医薬保健研究域医学系	1,200,000	③補委 日本学術振興会
韧带分泌組織による韧带再生能および治癒促進効果の解明	中瀬 順介	附属病院	750,000	③補委 日本学術振興会
転移性骨・脊椎腫瘍に対する局所凍結療法のがん特異的免疫増強効果の検証	加藤 仁志	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
悪性軟部腫瘍個別化療法のための新規同所移植モデル確立とその機能解析	山本 憲男	医薬保健学総合研究科	800,000	③補委 日本学術振興会
日本人の解剖学的骨盤形態に適合した人工股関節再置換用寛骨臼再建補強プレートの開発	加畑 多文	医薬保健研究域医学系	1,000,000	③補委 日本学術振興会
男性膀胱癌患者を対象とした尿路HPV感染の自然史の解明と膀胱癌発生との関連性	重原 一慶	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
腎細胞癌におけるIO薬効果予測因子の基礎的・臨床的探索	角野 佳史	医薬保健研究域医学系	900,000	③補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌患者におけるタモキシフェンによる子宮内臓器質性変化の解析と妊孕性に及ぼす影響	山崎 玲奈	附属病院	550,000	③補委 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌のエクソソームを介した腫瘍進展機序の解明	加藤 広祿	医薬保健研究域医学系	800,000	③補委 日本学術振興会
仮想現実と経頭蓋直流電気刺激を用いた新たなリハビリテーションの開発	久保田 雅史	医薬保健研究域保健学系	100,000	③補委 日本学術振興会
複合型高脂血症発症に関与する肝性リパーゼ活性・内因性リパーゼインヒビターの役割	稲津 明広	医薬保健研究域保健学系	600,000	③補委 日本学術振興会
患者B細胞を利用した新規抗HLAモノクローナル抗体、CAR-T細胞の臨床開発	高松 博幸	融合科学系	1,100,000	③補委 日本学術振興会
超音波診断装置を用いて脂肪由来幹細胞を経時的に複数回投与した自家神経移植の研究	多田 薫	医薬保健研究域医学系	1,400,000	③補委 日本学術振興会
認知症における新規病態解明ならびにバイオマーカー開発	中出 祐介	附属病院	1,300,000	③補委 日本学術振興会
心機能評価の精度管理を目的とした三次元心動態ファントムと標準化ガイドラインの構築	小野口 昌久	医薬保健研究域保健学系	1,250,000	③補委 日本学術振興会
肝細胞癌のradiomicsに基づき薬物治療効果予測	北尾 梓	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
肝癌治療効果を予測するための肝癌内細菌かつ腸内細菌を用いたバイオマーカーの開発	飯田 宗徳	附属病院	800,000	③補委 日本学術振興会
遺伝性不整脈症候群の病原性遺伝子変異の決定とそれに基づく個別化医療の実現	林 研至	医薬保健研究域保健学系	1,050,000	③補委 日本学術振興会
末梢血遺伝子発現解析による心房細動器質予測法の開発	加藤 武史	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
膵管免疫の破綻を基とした糖尿病性腎症進行の病態解明	岩田 恭宣	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
免疫グロブリン軽鎖による腎障害の病態解明	伊藤 清亮	医薬保健学総合研究科	1,900,000	③補委 日本学術振興会
免疫沈降法-ウェスタンブロッティング法を用いた膠原病関連自己抗体の同定	濱口 儒人	医薬保健研究域医学系	1,900,000	③補委 日本学術振興会
HLA-DR15欠失血球陽性再生不良性貧血における免疫病態の解明	細川 晃平	附属病院	1,700,000	③補委 日本学術振興会
IgG4関連腎臓病における三次リンパ組織形成を介した病変進展と線維化機序の解明	川野 充弘	附属病院	650,000	③補委 日本学術振興会
非乳頭部十二指腸腫瘍におけるERBB受容体ファミリーの解析とバイオマーカー開発	中村 慶史	附属病院	500,000	③補委 日本学術振興会
大伏在静脈周囲組織がグラフト血管内皮機能に与える影響に関する研究	飯野 賢治	附属病院	600,000	③補委 日本学術振興会
グルタルアルデヒド固定処理自家心臓導管を用いた生体内組織再生誘導型気管再建	吉田 周平	附属病院	1,220,000	③補委 日本学術振興会
脳動脈瘤再発予防に向けた数値流体力学解析によるステント併用コイル塞栓術の開発	見崎 孝一	附属病院	1,200,000	③補委 日本学術振興会
神経膠腫におけるエクソソームを介した新規治療の開発	筒井 泰史	附属病院	1,300,000	③補委 日本学術振興会
RBPIの発現レベルに影響される膠芽腫の細胞形質転換とテモゾロミドの反応性	田中 慎吾	医薬保健研究域医学系	1,500,000	③補委 日本学術振興会
骨軟部肉腫における腫瘍免疫状態の解明と新規免疫療法の開発	三輪 真嗣	医薬保健研究域医学系	600,000	③補委 日本学術振興会
液体窒素を用いた腫瘍処理骨再建術における処理骨周囲膜組織の機能解明	浅野 陽平	附属病院	1,000,000	③補委 日本学術振興会
自家脂肪由来幹細胞シートを用いた革新的な巨大骨欠損再建法の開発	下川 寛右	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
骨肉腫幹細胞モデルと微小環境のクロストークの解明とそれらを標的にした治療戦略	武内 章彦	附属病院	950,000	③補委 日本学術振興会
栄養膜細胞特異抗原を用いた末梢血循環腫瘍細胞の検出と新規転移抑制治療法の開発	松本 多圭夫	附属病院	800,000	③補委 日本学術振興会
EBウイルスによるDNAメチル化誘導機構の解明と新規上咽頭癌治療法の開発	近藤 悟	附属病院	900,000	③補委 日本学術振興会
原発性アルドステロン症における網膜神経節細胞死 その機序と緑内障との比較	杉山 和久	医薬保健研究域医学系	2,000,000	③補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
眼圧日内変動に対するメラニン系の役割の解明	東出 朋巳	附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
線維芽増殖阻害薬による口腔癌の浸潤・転移抑制効果	野口 夏代	医薬保健研究域医学系	700,000	補委 日本学術振興会
変型TIMP-3を用いた選択的軟骨破壊阻害による進行性下顎頭吸収の抑制	大井 一浩	附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
院外心停止に対する現場蘇生中止基準の開発研究	後藤 由和	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委 日本学術振興会
AIアプリPHRとVRを活用した3Dオンライン診療システムの構築	米田 隆	融合科学系	1,300,000	補委 日本学術振興会
片麻痺ブッシュー現象の客観的評価法と感覚参照系を踏まえた治療法の開発	浅井 仁	医薬保健研究域保健学系	2,300,000	補委 日本学術振興会
縦型オープンMRIによる骨盤底筋群と股関節周囲筋の共同収縮機序の解明	間所 祥子	医薬保健研究域保健学系	1,040,000	補委 日本学術振興会
網羅的D-アミノ酸解析による伝統的発酵食品と健康長寿・腎保護との関連性解明	北島 信治	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
糖代謝異常者への個別食事箋の提案を可能とする食後高血糖制御アルゴリズムの開発	原 章規	医薬保健研究域医学系	1,130,000	補委 日本学術振興会
ヒト皮下脂肪間質細胞を用いた拍動心筋細胞の心不全治療応用へ向けた研究	高島 伸一郎	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
安静時の膝伸筋群の超音波画像を用いた広範囲年齢層の膝伸筋最大筋力の推定	三秋 泰一	医薬保健研究域保健学系	2,500,000	補委 日本学術振興会
スーパーマイクロサージャリーを用いた胆道癌PDOXマウスモデルの確立	八木 真太郎	医薬保健研究域医学系	1,400,000	補委 日本学術振興会
モデルマウスを用いた免疫代謝解析に基づく頭頸部癌に対する抗腫瘍免疫活性化法の開発	脇坂 尚宏	医薬保健研究域医学系	3,300,000	補委 日本学術振興会
脳腫瘍進展に伴う脳機能シフトの法則と限界の解明	中田 光俊	医薬保健研究域医学系	2,000,000	補委 日本学術振興会
高速原子間力顕微鏡によるキラルアミノ酸代謝の可視化解析	和田 隆志	事務局	2,500,000	補委 日本学術振興会
連続肝生検アプローチによる糖尿病性脂肪肝炎のバイオマーカー探索	篁 俊成	医薬保健研究域医学系	1,600,000	補委 日本学術振興会
新規生物学的コンセプトを応用した頭頸部ウイルス発癌超早期治療法の開発	吉崎 智一	医薬保健研究域医学系	1,800,000	補委 日本学術振興会
ポストAR時代の治療戦略構築に向けたアンドロゲン非依存前立腺癌進展機構の解明	溝上 敦	医薬保健研究域医学系	1,900,000	補委 日本学術振興会
回復期待度による新規リハビリテーション指針確立に向けた白質神経線維の可塑性の解明	中嶋 理帆	医薬保健研究域保健学系	2,000,000	補委 日本学術振興会
医薬品個別化適正使用のための薬物代謝酵素活性を定量測定する新規核医学診断法の確立	水谷 明日香	医薬保健研究域保健学系	700,000	補委 日本学術振興会
腎血流と腎酸素飽和度の画像評価による造影剤腎症の病態解明と経動脈的治療法の開発	奥村 健一郎	附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
MRIを用いた新しい肝線維化評価法の確立	小野田 農	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
小児がん治療の致死的合併症である肝中心静脈閉塞症候群の病態解明と新規治療法の開発	酒井 清祥	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
腸内細菌・ウイルス叢の変化と糖尿病・高血圧・NASH改善との関連性の経時的評価	林 智之	医薬保健学総合研究科	900,000	補委 日本学術振興会
RIP-Seq法を用いたRIG-I/IRNA decoy探索と核酸医薬への応用	村居 和寿	医薬保健研究域保健学系	900,000	補委 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症におけるNGFR陽性細胞の機能的解析	五天 千明	附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
乾癬の病態における制御性B細胞の役割の解明	水牧 貴恵	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連動脈/後腹膜疾患特異的病態の解明と治療法の確立	水島 伊知郎	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
糖尿病関連ヘパトカイン発現のマスターレギュレーターの同定とその機能解析	金森 岳広	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
機能性副腎腫瘍のゲノム・エピゲノム解析とAIによる新規診断法の確立	米谷 充弘	附属病院	300,000	補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心筋停止後症候群の予後における脳障害の経時的炎症病態と多元的評価	中村 美穂	附属病院	600,000	③補委 日本学術振興会
上咽頭癌におけるSemaphorin3Aの関与と治療への応用	加瀬 希奈	附属病院	800,000	③補委 日本学術振興会
頭頸部癌血中循環腫瘍細胞の基礎的検討	上野 貴雄	附属病院	600,000	③補委 日本学術振興会
光干渉断層計をもちいた前視野緑内障の早期発見についての研究	竹本 大輔	医薬保健研究域医学系	300,000	③補委 日本学術振興会
統合失調症患者の予測に基づく認知・運動機能の評価方法の構築に関する基礎的研究	菊池 ゆひ	医薬保健研究域保健学系	800,000	③補委 日本学術振興会
ポータブルNIRSによる中高年者の後出しボディージャパンけん遂行時の脳活動の検討	武田 千絵	医薬保健研究域保健学系	100,000	③補委 日本学術振興会
自閉症スペクトラムの友達作りに関するスキルトレーニングの教育現場への応用	田中 早苗	子どものこころの発達研究センター	800,000	③補委 日本学術振興会
難治性神経疾患患者の流涎に対する薬物療法のエビデンス創出	石田 奈津子	薬学系	800,000	③補委 日本学術振興会
再発・悪性髄膜腫におけるVEGFR-2のシグナル伝達経路の解明	中田 聡子	附属病院	1,300,000	③補委 日本学術振興会
BRAF V600E陽性甲状腺未分化がんの分子標的薬耐性と耐性を克服する基礎研究	西山 明宏	がん進展制御研究所	1,000,000	③補委 日本学術振興会
GABA神経伝達の低下が自閉スペクトラム児の発達に与える影響について	廣澤 徹	子どものこころの発達研究センター	600,000	③補委 日本学術振興会
統合失調症の作業記憶ネットワーク機能障害に関わる錐体ニューロン投射タイプの同定	坪本 真	附属病院	1,500,000	③補委 日本学術振興会
注意欠陥・多動性障害の病態生理におけるNMDA受容体の関わり 脳磁図を用いた検討	宮岸 良彰	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
近接ジオメトリ方式による超高分像度CTの応用技術開発	川嶋 広貴	医薬保健研究域保健学系	1,100,000	③補委 日本学術振興会
ピロリン酸シンテグラフィの三次元定量評価を用いた心アミロイドーシス診断の研究	渡辺 悟	先進予防医学研究科	800,000	③補委 日本学術振興会
高等哺乳動物を用いた胎児脳形成異常に關するシグナル経路の解明	水口 敬司	附属病院	700,000	③補委 日本学術振興会
肝細胞癌、膵癌、胆道癌における腫瘍局所の免疫プロファイルの意義の解明	寺島 健志	先進予防医学研究センター	1,000,000	③補委 日本学術振興会
がん免疫療法研究に寄与する革新的な肝臓がん免疫系ヒト化マウスモデルの開発	丹尾 幸樹	附属病院	900,000	③補委 日本学術振興会
多遺伝子リスクスコアを用いた肥大型心筋症における新たな疾患発症機序の解明	野村 章洋	附属病院	900,000	③補委 日本学術振興会
乾癬におけるS1Pシグナルを標的とした新規治療法の開発	加納 美優	医薬保健研究域医学系	1,000,000	③補委 日本学術振興会
慢性GVHD発症機序の探索 -リコモジュリンの慢性GVHD予防機序解明を通して-	藤木 俊寛	附属病院	600,000	③補委 日本学術振興会
後天性の家族性造血不全における免疫病態の解明	井美 達也	医薬保健研究域医学系	700,000	③補委 日本学術振興会
血行性転移における活性化血小板を基軸とした自然免疫回避の解明	岡崎 充善	附属病院	700,000	③補委 日本学術振興会
覚醒下手術による視野の回復メカニズムの解明	一ノ瀬 惇也	附属病院	900,000	③補委 日本学術振興会
既存薬剤Pentamidineによる新規抗グリオーマ幹細胞療法法の基礎基盤構築	玉井 翔	附属病院	1,500,000	③補委 日本学術振興会
超高周波脳波測定による術中高次脳機能評価技術の開発および新規脳機能局在の解明	吉識 賢志	附属病院	500,000	③補委 日本学術振興会
軟部肉腫に対する患者由来腫瘍同所移植マウスモデルを用いた個別化医療の開発	五十嵐 健太郎	医薬保健学総合研究科	800,000	③補委 日本学術振興会
ヨード担持インプラントにおける血行性術後インプラント周囲感染の予防効果	井上 大輔	医薬保健研究域医学系	1,600,000	③補委 日本学術振興会
悪性軟部腫瘍広範切除後の液体窒素処理自家神経移植術の確立	米澤 宏隆	附属病院	800,000	③補委 日本学術振興会
Foxp4の子宮内膜癌増悪の機序解明とアンドロゲンに着眼した新規治療法の開発	松岡 歩	附属病院	1,500,000	③補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マウス子宮機動運動と概日リズムに着目した産科婦人科疾患予防法の探索	細野 隆	附属病院	1,500,000	③補委 日本学術振興会
マウス子宮筋中層における新規メッシュ構造の生理学的意義	鏡 京介	附属病院	1,700,000	③補委 日本学術振興会
稀少絨毛性疾患PSTTとETTの新規診断法および治療法の開発と悪性化機構の解明	茅橋 佳代	附属病院	1,600,000	③補委 日本学術振興会
Bloom syndrome protein異常による子宮内膜発癌誘導作用の検討	小幡 武司	附属病院	1,900,000	③補委 日本学術振興会
鶏卵モデルを用いた喉頭乳頭腫腫瘍化要因の解明	中西 庸介	医薬保健研究域医学系	700,000	③補委 日本学術振興会
生体活性を付与したジルコニア開発による持続可能なインプラント治療確立への挑戦	伊藤 達郎	附属病院	1,300,000	③補委 日本学術振興会
関節軟骨の廃用症候群における運動療法の確立と変形性関節症の発症に及ぼす影響	高橋 郁文	附属病院	1,400,000	③補委 日本学術振興会
機械学習を用いたCKD未病状態における新規病型分類と治療効果	遠山 直志	附属病院	500,000	③補委 日本学術振興会
EGFR変異肺がんにおいて併存するRBM10遺伝子変異の機能解析	南條 成輝	がん進展制御研究所	2,400,000	③補委 日本学術振興会
アルツハイマー病ハイリスク地域住民の海馬容積に注目した防衛的生活習慣因子の探索	小松 潤史	医薬保健学総合研究科	2,400,000	③補委 日本学術振興会
自閉スペクトラム症の症状を改善する生活習慣の検討ー加速度計を用いた検討ー	内藤 暢茂	附属病院	2,100,000	③補委 日本学術振興会
心臓専用半導体SPECTを用いた複数分子同時収集の物理因子解明と補正技術の確立	澁谷 孝行	医薬保健研究域保健学系	2,300,000	③補委 日本学術振興会
肝腫瘍画像診断の標準化診断法における新WHO分類に基づく病理組織学的根拠の確立	五十嵐 紗耶	附属病院	1,300,000	③補委 日本学術振興会
分子標的薬併用による甲状腺癌内用療法不応性患者に対する次世代治療戦略の検証	廣正 智	附属病院	1,400,000	③補委 日本学術振興会
小児脊柱側弯症患者の全脊椎X線CT検査における低線量プロトコルの開発	高田 忠徳	附属病院	2,100,000	③補委 日本学術振興会
心房細動のリスク因子探索と高齢者への最適治療戦略構築をめざす大規模コホート研究	津田 豊暢	附属病院	800,000	③補委 日本学術振興会
非侵襲的に記録された皮膚交感神経活動の心房細動治療における役割の解明	草山 隆志	附属病院	1,500,000	③補委 日本学術振興会
肺癌マクロファージによる2型肺癌上皮細胞の増殖・分化制御機構の解明	渡辺 知志	医薬保健学総合研究科	1,400,000	③補委 日本学術振興会
再生不良性貧血における7番染色体欠失クローン進展機序の解明	材木 義隆	附属病院	2,400,000	③補委 日本学術振興会
ルミナル乳癌における血小板凝集と免疫回避機構の解明	石川 聡子	附属病院	600,000	③補委 日本学術振興会
高圧処理を施した自家骨移植の有効性の検討	新村 和也	医薬保健学総合研究科	1,500,000	③補委 日本学術振興会
カバジタキセル耐性獲得におけるケモカインと免疫機構の作用機序の解明	岩本 大旭	医薬保健研究域医学系	2,100,000	③補委 日本学術振興会
リンパ節転移微小環境における癌進展機構に立脚したリンパ節修飾薬の開発	八重樫 洋	附属病院	1,800,000	③補委 日本学術振興会
細胞融合現象に基づく上咽頭癌発癌機構の解析と、新規治療法の開発	小森 岳	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
上咽頭癌における新規バイオマーカーの開発と臨床応用	平井 信行	附属病院	700,000	③補委 日本学術振興会
概日リズム障害は緑内障発症を誘導するか？	土屋 俊輔	附属病院	1,900,000	③補委 日本学術振興会
超音波エラストグラフィによる嚙下機能の見える化と予防・改善法のための基礎研究	太田 哲生	医薬保健研究域保健学系	1,500,000	③補委 日本学術振興会
地域脳健診での認知症発症と口腔機能の関連解析	石宮 舞	附属病院	1,100,000	③補委 日本学術振興会
West症候群の早期診断を目指したオンライン動画診断支援システムの確立	黒田 文人	附属病院	600,000	③補委 日本学術振興会
新型コロナウイルス感染症流行によるステイホームがロコモに与える影響	黒川 由貴	附属病院	700,000	③補委 日本学術振興会

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
リドリンの胎盤透過性および胎児蓄積性と新生児低血糖症との因果関係解明	藤田 有美	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
骨代謝異常に伴う骨密度低下が脊柱側弯の進行に及ぼす影響の解明	横川 文彬	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委 日本学術振興会
HLA-Eを介した肝がん免疫反応の解析と治療開発	中河 秀俊	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
難治性神経芽腫に対する131I-MIBG内照射によるアプスコバル効果の解明	黒田 梨絵	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
異常プロトンピンのトロンボモジュリン抵抗性による血栓症発症機序の解明	長屋 聡美	医薬保健研究域保健学系	1,100,000	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病における抗エリスロポエチン受容体抗体の臨床的意義の検討	大島 恵	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた末期腎不全の新規原因遺伝子同定および機序解明	山村 雄太	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
アルドステロン産生副腎過形成の成因となる脂肪組織由来miRNAの探索と機能解析	中野 雄二郎	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
脂肪由来幹細胞シートを付加した強化型自家神経移植による末梢神経再生の研究	村井 惇朗	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
小児特異性側弯症患者の全脊椎X線撮影における線量低減プロトコルの開発	峰広 香織	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
個別化医療の臨床応用を目指した胆道癌同所移植マウスモデルの開発	高田 智司	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
上咽頭癌におけるエクソソームへのPD-L1分泌を介した抗PD-1抗体耐性機構	小林 英士	附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
完全非損傷イメージングによるブリの品質・組成モニタリングシステムの開発	岡本 里穂	附属病院	470,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌の免疫チェックポイント阻害療法におけるサルコペニアの臨床的意義の解明	スタッフ 由紀子	附属病院	390,000	補委 日本学術振興会
クエン酸ナトリウムを含む薬剤および服薬支援剤の腸溶性コーティングに与える影響	中川 祐紀子	附属病院	430,000	補委 日本学術振興会
極早期に障害される緑内障の構造的部位と視野検査点の解明	宇田川 さち子	附属病院	450,000	補委 日本学術振興会
脳機能評価法としての呼吸機能検査に関する検討	鶴野 いずみ	附属病院	320,000	補委 日本学術振興会
区域別カルシウムスコアによる動脈硬化疾患のリスク評価	花岡 慎介	附属病院	470,000	補委 日本学術振興会
腹部単純X線撮影における金属フィルターを使用した線量低減撮影法の有用性の検討	南 修平	附属病院	320,000	補委 日本学術振興会
MRIバイオマーカーを使用した非侵襲的腎疾患診断法の開発	牧野 有希	附属病院	420,000	補委 日本学術振興会
B型・D型肝炎ウイルス共感染が引き起こす肝疾患の分子生物学的機序の解明	島上 哲朗	附属病院	3,700,000	補委 日本学術振興会
糖尿病性腎臓病の抗エリスロポエチン受容体抗体の国際的バイオマーカー確立と国際比較	和田 隆志	事務局	2,050,000	補委 日本学術振興会
人種間の他者理解脳内ネットワーク解析と覚醒下手術への応用	中田 光俊	医薬保健研究域医学系	2,600,000	補委 日本学術振興会
認知機能からみたこころの健康へのアプローチ：予防とレジリエンスのために	松井 三枝	GS教育系	19,000,000	補委 日本学術振興会
精神・神経疾患の認知予備力評価法の開発：神経心理学的メカニズムの解明のために	松井 三枝	GS教育系	5,750,000	補委 日本学術振興会
大腸がんの糖代謝変化と細胞核分裂機構を繋ぐ分子経路の解明とがん制御法開発への応用	源 利成	がん進展制御研究所	6,000,000	補委 日本学術振興会
概日リズムに基づく妊娠・産褥期セルフケアプログラムの開発・光と食による制御の検討	毎田 佳子	医薬保健研究域保健学系	3,650,000	補委 日本学術振興会
地域高齢者の認知機能低下に対する趣味および仕事の影響の性差に関する前向き縦断研究	堀本 真以	医薬保健研究域医学系	530,000	補委 日本学術振興会
唾液中のシクロホスファミド濃度と口腔粘膜の関連性についての検討	志村 裕介	附属病院	59,400	補委 日本学術振興会
新規及び既存の放射線療法に対応する放射線防護の基準策定のための研究	松原 孝祐	医薬保健研究域保健学系	250,000	補委 厚生労働省

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究	島上 哲朗	附属病院	1,000,000	③補委 厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	濱口 毅	医薬保健研究域医学系	700,000	③補委 厚生労働省
プリオン病及び変異性ウイルス感染症に関する調査研究班	濱口 毅	医薬保健研究域医学系	800,000	③補委 厚生労働省
アミロイドンに関する調査研究	小野 賢二郎	医薬保健研究域医学系	200,000	③補委 厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	和田 隆志	事務局	250,000	③補委 厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	和田 隆志	事務局	750,000	③補委 厚生労働省
前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	小林 顕	医薬保健研究域医学系	500,000	③補委 厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	加畑 多文	医薬保健研究域医学系	100,000	③補委 厚生労働省
強皮症・皮膚繊維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	濱口 儒人	医薬保健研究域医学系	200,000	③補委 厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究	和田 泰三	医薬保健研究域医学系	1,000,000	③補委 厚生労働省
慢性活動性EBV感染症と類縁疾患の疾患レジストリ情報に基づいた診療ガイドライン改定	和田 泰三	医薬保健研究域医学系	200,000	③補委 厚生労働省
予測不能な乳児突然死(SUID)原因検索プロトコルと制度整備に基づく診断精度向上と実態把握、ならびに睡眠環境因子を含めたSUID/SIDS予防策提言とCDR連携のための研究	太田 邦雄	医薬保健研究域医学系	100,000	③補委 厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	和田 泰三	医薬保健研究域医学系	600,000	③補委 厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	医薬保健研究域保健学系	15,385,000	③補委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	藤野 陽	医薬保健研究域保健学系	300,000	③補委 厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	出村 諭	附属病院	250,000	③補委 厚生労働省
肝炎総合対策の拡充への新たなアプローチに関する研究	島上 哲朗	附属病院	4,000,000	③補委 厚生労働省
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受診率・陽性者受診率の向上に資する研究	島上 哲朗	附属病院	400,000	③補委 厚生労働省
先天異常症候群のライフステージ全体の自然歴と合併症の把握・Reverse phenotypingを包含したアプローチ	渡邊 淳	附属病院	950,000	③補委 厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	川野 充弘	附属病院	800,000	③補委 厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	高比良 雅之	附属病院	800,000	③補委 厚生労働省
アミロイドンに関する調査研究	坂井 健二	附属病院	200,000	③補委 厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	山崎 宏人	附属病院	600,000	③補委 厚生労働省
神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	吉川 弘明	保健管理センター	800,000	③補委 厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	米田 隆	融合科学系	6,054,000	③補委 厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	稲津 明広	医薬保健研究域保健学系	100,000	③補委 厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	村山 敏典	附属病院	100,000	③補委 厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	出村 昌史	医薬保健研究域医学系	100,000	③補委 厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	野村 章洋	附属病院	100,000	③補委 厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	唐島 成宙	GS教育系	100,000	③補委 厚生労働省

小計 30件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	米谷 充弘	附属病院	100,000	補委 厚生労働省
ネットワーク社会における地域の特性に応じた肝疾患診療連携体制構築に資する研究	金子 周一	医薬保健研究域医学系	10,750,000	補委 厚生労働省
原発性脂質異常症に関する研究	川尻 剛照	医薬保健研究域医学系	200,000	補委 厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究	和田 隆志	事務局	27,750,000	補委 厚生労働省
放射線療法の提供体制構築に資する研究	絹谷 清剛	医薬保健研究域医学系	300,000	補委 厚生労働省
小児から成人期発症遺伝性QT延長症候群の突然死予防に関する研究	林 研至	医薬保健研究域保健学系	100,000	補委 厚生労働省
誘発性脂質異常症に関する調査研究	多田 隼人	附属病院	5,600,000	補委 厚生労働省
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	朝倉 英策	附属病院	500,000	補委 厚生労働省

小計 8件

計 437,218,400

計 278件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Noriho Iida, Eishiro Mizukoshi, Tatsuya Yamashita 他	消化器内科	Chronic liver disease enables gut Enterococcus faecalis colonization to promote liver carcinogenesis.	Nat Cancer 2(10):1039-1054, 2021 Oct	Original Article
2	Tetsuro Shimakami, Shuichi Kaneko	消化器内科	Use of information and communication technology in the support of viral hepatitis patients in Japan.	Glob Health Med 31;3(5):314-320, 2021 Oct	Review
3	Tomoyuki Hayashi, Yumie Takeshita, Yvan J-F Hutin 他	消化器内科	The global hepatitis delta virus (HDV) epidemic: what gaps to address in order to mount a public health response?	Arch Public Health 19;79(1):180, 2021 Oct	Original Article
4	Yoshio Sakai, Alessandro Nasti, Yumie Takeshita 他	消化器内科	Eight-year longitudinal study of whole blood gene expression profiles in individuals undergoing long-term medical follow-up.	Sci Rep 16;11(1):16564, 2021 Aug	Original Article
5	Kazunori Kawaguchi, Yoshio Sakai, Takeshi Terashima 他	消化器内科	Decline in serum albumin concentration is a predictor of serious events in nonalcoholic fatty liver disease.	Medicine (Baltimore) 6;100(31):e26835, 2021 Aug	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
6	Takeshi Terashima, Yoichi Higashibeppu, Tatsuya Yamashita 他	消化器内科	Treatment patterns and medical costs after hepatectomy in real-world practice for patients with hepatocellular carcinoma in Japan	Hepatol Res 51(10):1073-1081, 2021 Oct	Original Article
7	Tomoyuki Hayashi, Yoshiro Asahina, Hiroyoshi Nakanishi 他	消化器内科	Evaluation of the efficacy and safety of salvage photodynamic therapy by talaporfin sodium for cervical esophageal cancers and lesions larger than 3 cm.	Esophagus 18(3):645-654, 2021 Jul	Original Article
8	Takeshi Terashima, Tatsuya Yamashita, Noboru Takata 他	消化器内科	Safety and efficacy of sorafenib followed by regorafenib or lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res 51(2):190-200, 2021 Feb	Original Article
9	Kosuke Ishida, Akihiro Seki, Kazunori Kawaguchi 他	消化器内科	Restorative effect of adipose tissue-derived stem cells on impaired hepatocytes through Notch signaling in non-alcoholic steatohepatitis mice	Stem Cell Res. 2021 54:102425. 2021 Jul	Original Article
10	Takeshita Y, Kita Y, Tanaka T 他	内分泌・代謝内科	Insulin-glucagon-like peptide-1 receptor agonist relay and glucagon-like peptide-1 receptor agonist first regimens in individuals with type 2 diabetes: A randomized, open-label trial study.	J Diabetes Investig. 2022 Jun; 13(6):965-974. doi: 10.1111/jdi.13749. Epub 2022 Feb 8.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
11	Takeshita Y, Teramura C, Kamoshita K 他	内分泌・代謝内科	Effects of eicosapentaenoic acid on serum levels of selenoprotein P and organ-specific insulin sensitivity in humans with dyslipidemia and type 2 diabetes.	J Diabetes Investig. 2022 Mar; 13(3):532-542. doi: 10.1111/jdi.13699. Epub 2021Nov 9.	Original Article
12	Takeshita Y, Tanaka T, Wakakuri H 他	内分泌・代謝内科	Metabolic and sympathovagal effects of bolus insulin glulisine versus basal insulin glargine therapy in people with type 2 diabetes: A randomized controlled study.	J Diabetes Investig. 2021Jul; 12(7):1193-1201. doi: 10.1111/jdi.13471. Epub 2020 Dec 28.	Original Article
13	Mitsuhiro Kometani , Takashi Yoneda, Daisuke Aono 他	内分泌・代謝内科	Primary Aldosteronism with Parathyroid Hormone Elevation: A Single-center Retrospective Study	Intern Med 2021;60(7):993-998. doi: 10.2169/internalmedicine. 5282-20. Epub 2021 Apr 1.	Original Article
14	Mitsuhiro Kometani, Takashi Yoneda, Yuji Maeda 他	内分泌・代謝内科	Carcinoma of unknown primary origin with isolated adrenal metastasis: a report of two cases	Endocr J 2021 Oct 28;68(10):1209-1215. doi: 10.1507/endocrj.EJ21- 0141. Epub 2021 May 18.	Case report
15	Ichiro Mizushima, Mitsuhiro Kawano	リウマチ・膠原病内科	Renal involvement in retroperitoneal fibrosis: prevalence, impact and management challenges.	International Journal of Nephrology and Renovascular Disease 14: 279-289, 2021Jul.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
16	Takeshi Zoshima, Tomohisa Baba, Yamato Tanabe 他	リウマチ・膠原病内科	CCR2- and CCR5-mediated macrophage infiltration contributes to glomerular endocapillary hypercellularity in antibody-induced lupus nephritis.	Rheumatology (Oxford) keab825, 2021 Nov.	Original Article
17	Ichiro Mizushima, Takahiro Yamano, Hiroyuki Kawahara 他	リウマチ・膠原病内科	Positive disease-specific autoantibodies have limited clinical significance in diagnosing IgG4-related disease in daily clinical practice.	Rheumatology (Oxford) 60(7): 3317-3325, 2021 Jul.	Original Article
18	Ichiro Mizushima, Masahiro Konishi, Hajime Sanada 他	リウマチ・膠原病内科	Serum IgG4 levels at diagnosis can predict unfavorable outcomes of untreated patients with IgG4-related disease.	Scientific Reports 11(1): 13341, 2021 Jun.	Original Article
19	Yoshinori Takahashi, Ichiro Mizushima, Masahiro Konishi 他	リウマチ・膠原病内科	Involvement of two or more sets of lacrimal glands and/or major salivary glands is related to greater systemic disease activity due to multi-organ involvement in IgG4-related dacryoadenitis/sialadenitis.	Modern Rheumatology 31(6): 1164-1170, 2021 Nov.	Original Article
20	Yoshinori Takahashi, Satoshi Hara, Ryohei Hoshiba 他	リウマチ・膠原病内科	Pneumonia and central nervous system infection caused by reactivation of varicella-zoster virus in a living-donor kidney transplantation patient: case report and review of the literature.	Clinical and Experimental Nephrology (CEN) Case Reports 10(3): 370-377, 2021 Aug.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
21	Ryo Nishioka, Takeshi Zoshima, Satoshi Hara 他	リウマチ・膠原病内科	Urinary abnormality in mixed connective tissue disease predicts development of other connective tissue diseases and decrease in renal function.	Modern Rheumatology 32(1): 155-162, 2022 Jan.	Original Article
22	Nakatsumi H, Watanabe S, Gohara K, 他	呼吸器内科	A Case of Methicillin-resistant Staphylococcus aureus Necrotizing Bronchitis after Radiotherapy in Combination with Axitinib.	Intern Med. 2022 Feb 26. doi: 10.2169/internalmedicine. 9143-21. Online ahead of print.	Case report
23	Koba H, Kimura H, Yoneda T, 他	呼吸器内科	NOTCH alteration in EGFR-mutated lung adenocarcinoma leads to histological small-cell carcinoma transformation under EGFR-TKI treatment.	Transl Lung Cancer Res. 2021 Nov;10(11):4161- 4173. doi: 10.21037/tlcr- 21-536.	Original Article
24	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Cancer metastasis may increase COVID-19 mortality: Suitable targets required to impede cancer metastasis.	J Infect Public Health. 2022 Feb;15(2):153-155. doi: 10.1016/j.jiph.2021.12.00 4. Epub 2021 Dec 10.	Others
25	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Investigating the aggressiveness of the COVID-19 Omicron variant and suggestions for possible treatment options.	Respir Med. 2022 Jan;191:106716. doi: 10.1016/j.rmed.2021.1067 16. Epub 2021 Dec 14.	Others

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
26	Shimizu T, Watanabe S, Murata A, 他	呼吸器内科	Bronchial Cast Hiding Pulmonary Tuberculosis.	Am J Respir Crit Care Med. 2022 Apr 15;205(8):e16-e17. doi: 10.1164/rccm.202105- 13061M.	Case report
27	Watanabe S, Kase K, Saeki K, 他	呼吸器内科	Kinetic changes in serum KL-6 levels predict disease progression in patients with systemic sclerosis- associated interstitial lung disease.	Respir Med. 2022 Jan;191:106689. doi: 10.1016/j.rmed.2021.1066 89. Epub 2021 Nov 25.	Original Article
28	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Potential therapeutic role of budesonide to reduce COVID-19 severity.	J Infect Public Health. 2022 Jan;15(1):109-111. doi: 10.1016/j.jiph.2021.11.00 3. Epub 2021 Nov 12.	Others
29	Watanabe S, Iwasaki K, Kasahara K.	呼吸器内科	Pleuroparenchymal Fibroelastosis Induced by Liver Transplantation?	Am J Respir Crit Care Med. 2022 Feb 1;205(3):368-369. doi: 10.1164/rccm.202107- 1780LE.	Others
30	Shimizu T, Watanabe S, Yoneda T, 他	呼吸器内科	Interstitial pneumonitis after COVID-19 vaccination: A report of three cases.	Allergol Int. 2022 Apr;71(2):251-253. doi: 10.1016/j.alit.2021.10.00 3. Epub 2021 Nov 9.	Case report

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
31	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	The emerging role of oxidative stress in complications of COVID-19 and potential therapeutic approach to diminish oxidative stress.	Respir Med. 2021 Oct;187:106605. doi: 10.1016/j.rmed.2021.106605. Epub 2021 Sep 6.	Others
32	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	The Mechanisms of the Growth Inhibitory Effects of Paclitaxel on Gefitinib-resistant Non-small Cell Lung Cancer Cells.	Cancer Genomics Proteomics. 2021 Sep-Oct;18(5):661-673. doi: 10.21873/cgp.20288.	Original Article
33	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Paclitaxel Impedes EGFR-mutated PC9 Cell Growth via Reactive Oxygen Species-mediated DNA Damage and EGFR/PI3K/AKT/mTOR Signaling Pathway Suppression	Cancer Genomics Proteomics. 2021 Sep-Oct;18(5):645-659. doi: 10.21873/cgp.20287.	Original Article
34	Ohkura N, Tanaka R, Hara J, 他	呼吸器内科	Two cases of chronic obstructive pulmonary disease evaluated by dynamic-ventilatory digital radiography for pulmonary function and assessment of treatment efficacy.	Respir Investig. 2021 Nov;59(6):871-875. doi: 10.1016/j.resinv.2021.07.005. Epub 2021 Aug 22.	Case report
35	Kase K, Watanabe S, Saeki K, 他	呼吸器内科	Fractional analysis of bronchoalveolar lavage in systemic sclerosis-associated interstitial lung disease.	J Thorac Dis. 2021 Jul;13(7):4146-4155. doi: 10.21037/jtd-20-2596.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
36	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Exploration of potential risk factors for COVID- 19 severity in patients participating in oncology clinical trials.	Respir Med. 2021 Sep;186:106535. doi: 10.1016/j.rmed.2021.1065 35. Epub 2021 Jul 6.	Others
37	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Cellular senescence is a potential severity factor for COVID-19: Suitable targets required to eliminate cellular senescence.	Respir Med. 2021 Sep;186:106517. doi: 10.1016/j.rmed.2021.1065 17. Epub 2021 Jun 21.	Others
38	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Cisplatin and Pemetrexed Have Distinctive Growth- inhibitory Effects in Monotherapy and Combination Therapy on KRAS-dependent A549 Lung Cancer Cells.	Cancer Genomics Proteomics. 2021 Jul- Aug;18(4):579-590. doi: 10.21873/cgp.20282.	Original Article
39	Matsuoka H, Araya T, Kita T, 他	呼吸器内科	Suitability of Endobronchial Ultrasound-Guided Transbronchial Needle Aspiration versus Paired Transbronchial Biopsy Specimens for Evaluating Programmed Death Ligand-1 Expression in Stage III and IV Lung Cancer: A Comparative Retrospective Study.	J Cancer. 2021 May 27;12(15):4478-4487. doi: 10.7150/jca.55738. eCollection 2021.	Original Article
40	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Pemetrexed Disodium Heptahydrate Induces Apoptosis and Cell- cycle Arrest in Non- small-cell Lung Cancer Carrying an EGFR Exon 19 Deletion.	Anticancer Res. 2021 Jun;41(6):2963-2977. doi: 10.21873/anticancerres.1507 8.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
41	Ohkura N, Tanaka R, Watanabe S, 他	呼吸器内科	Chest Dynamic-Ventilatory Digital Radiography in Chronic Obstructive or Restrictive Lung Disease.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2021 May 18;16:1393-1399. doi: 10.2147/COPD.S309960. eCollection 2021.	Original Article
42	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	The emerging role of cellular senescence in complications of COVID-19.	Cancer Treat Res Commun. 2021;28:100399. doi: 10.1016/j.ctarc.2021.100399. Epub 2021 May 15.	Review
43	Mohiuddin M, Kasahara K.	呼吸器内科	Cisplatin Activates the Growth Inhibitory Signaling Pathways by Enhancing the Production of Reactive Oxygen Species in Non-small Cell Lung Cancer Carrying an EGFR Exon 19 Deletion.	Cancer Genomics Proteomics. 2021 May-Jun;18(3 Suppl):471-486. doi: 10.21873/cgp.20273.	Original Article
44	Koba H, Kimura H, Yoneda T, 他	呼吸器内科	Molecular features of tumor-derived genetic alterations in circulating cell-free DNA in virtue of autopsy analysis.	Sci Rep. 2021 Apr 16;11(1):8398. doi: 10.1038/s41598-021-87094-1.	Original Article
45	Tada H, Usui S, Sakata K 他	循環器内科	Challenges of Precision Medicine for Atherosclerotic Cardiovascular Disease Based on Human Genome Information	J Atheroscler Thromb. 2021 Apr 1;28(4):305-313	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
46	Tada H, Okada H, Nomura A 他	循環器内科	Clinical Diagnostic Criteria of Familial Hypercholesterolemia - A Comparison of the Japan Atherosclerosis Society and Dutch Lipid Clinic Network Criteria	Circ J. 2021 May 25;85(6):891-897	Original Article
47	Tada H, Nomura A, Ogura M 他	循環器内科	Diagnosis and Management of Sitosterolemia 2021	J Atheroscler Thromb. 2021 Aug 1;28(8):791-801	Original Article
48	Tada H, Yamagami K, Kojima N 他	循環器内科	Prevalence and Impact of Apolipoprotein E7 on LDL Cholesterol Among Patients With Familial Hypercholesterolemia	Front Cardiovasc Med. 2021 Apr 13;8:625852	Original Article
49	Tada H, Takamura M, Kawashiri MA	循環器内科	Familial Hypercholesterolemia: A Narrative Review on Diagnosis and Management Strategies for Children and Adolescents	Vasc Health Risk Manag. 2021 Feb 17;17:59-67	Review
50	Tada H	循環器内科	Personalized Medicine beyond Low-Density Lipoprotein Cholesterol to Combat Residual Risk for Coronary Artery Disease	J Atheroscler Thromb. 2021 Nov 1;28(11):1130- 1132	Others

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
51	Tada H, Okada H, Nomura A 他	循環器内科	Prognostic impact of cascade screening for familial hypercholesterolemia on cardiovascular events	J Clin Lipidol. 2021 Mar- Apr;15(2):358-365	Original Article
52	Tada H, Okada H, Nohara A 他	循環器内科	Effect of Cumulative Exposure to Low- Density Lipoprotein- Cholesterol on Cardiovascular Events in Patients With Familial Hypercholesterolemia	Circ J. 2021 Oct 25;85(11):2073-2078	Original Article
53	Tada H, Takamura M, Kawashiri MA	循環器内科	Triglycerides on the Rise!	J Atheroscler Thromb. 2021 Dec 1;28(12):1263- 1265	Others
54	Tada H, Fujino N, Hayashi K 他	循環器内科	Human genetics and its impact on cardiovascular disease	J Cardiol. 2022 Feb;79(2):233-239	Review
55	Tada H, Okada H, Nohara A 他	循環器内科	Genetic mutations, regression of Achilles tendon thickness, and cardiovascular events among patients with familial hypercholesterolemia	Atherosclerosis. 2022 Jan;340:28-34	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
56	Sakata K, Takamura M.	循環器内科	Hemodynamic Stratification of the Pulmonary Vasculature in Patients Undergoing Transcatheter Aortic Valve Replacement	Circ J. 2022 Feb 25;86(3):391-392	Others
57	Takashima S, Usui S, Inoue O 他	循環器内科	Myocyte-specific enhancer factor 2c triggers transdifferentiation of adipose tissue-derived stromal cells into spontaneously beating cardiomyocyte-like cells	Sci Rep. 2021 Jan 15;11(1):1520.	Original Article
58	Nishikawa T, Tanaka Y, Tada H 他	循環器内科	Association between Cardiovascular Health and Incident Atrial Fibrillation in the General Japanese Population Aged $\geq 40$ Years	Nutrients. 2021 Sep 15;13(9):3201.	Original Article
59	Goten C, Usui S, Takashima SI 他	循環器内科	Circulating nerve growth factor receptor positive cells are associated with severity and prognosis of pulmonary arterial hypertension	Pulm Circ. 2021 Feb 9;11(1):2045894021990525. doi: 10.1177/2045894021990525. eCollection 2021 Jan-Mar.	Original Article
60	Hamaoka T, Murai H, Hirai T 他	循環器内科	Different Responses of Muscle Sympathetic Nerve Activity to Dapagliflozin Between Patients With Type 2 Diabetes With and Without Heart Failure	J Am Heart Assoc. 2021 Nov 16;10(22):e022637. doi: 10.1161/JAHA.121.022637. Epub 2021 Oct 30.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
61	Yamagami K, Nomura A, Kometani M 他	循環器内科	Early Detection of Symptom Exacerbation in Patients With SARS-CoV-2 Infection Using the Fitbit Charge 3 (DEXTERITY): Pilot Evaluation	JMIR Form Res. 2021 Sep 16;5(9):e30819. doi: 10.2196/30819.	Original Article
62	Kojima N, Tada H, Okada H 他	循環器内科	Case Report: Myocarditis Associated With COVID-19 mRNA Vaccination Following Myocarditis Associated With Campylobacter Jejuni.	Front Cardiovasc Med. 2022 Mar 18;9:837759	Case report
63	Keisuke Usuda, Takeshi Kato, Toyonobu Tsuda 他	循環器内科	Impact of sinus rhythm maintenance on major adverse cardiac and cerebrovascular events after catheter ablation of atrial fibrillation: insights from AF frontier ablation registry	Heart Vessels. 2022 Feb;37(2):327-336	Original Article
64	Miyagawa T, Iwata Y, Oshima M 他	腎臓内科	Soluble receptor for advanced glycation end products protects from ischemia- and reperfusion-induced acute kidney injury.	Biol Open. 2022 Jan 15;11(1):bio058852	Original Article
65	Nakagawa S, Toyama T, Iwata Y 他	腎臓内科	The relationship between the modified National Institute of Health activity and chronicity scoring system, and the long-term prognosis for lupus nephritis: A retrospective single-center study.	Lupus. 2021 Oct;30(11):1739-1746	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
66	Shimizu M, Furuichi K, Kitajima S 他	腎臓内科	Impact of the relationship between hemoglobin levels and renal interstitial fibrosis on long-term outcomes in type 2 diabetes with biopsy-proven diabetic nephropathy.	BMC Nephrol. 2021 Sep 25;22(1):319	Original Article
67	Miyagawa T, Iwata Y, Oshima M 他	腎臓内科	Polyarteritis nodosa with perirenal hematoma due to the rupture of a renal artery aneurysm.	CEN Case Rep. 2021 May;10(2):244-249	Case report
68	Kobayashi T, Iwata Y, Nakade Y 他	腎臓内科	Significance of the Gut Microbiota in Acute Kidney Injury	Toxins (Basel). 2021 May 22;13(6):369	Review
69	Linh HT, Iwata Y, Senda Y 他	腎臓内科	Intestinal Bacterial Translocation Contributes to Diabetic Kidney Disease	J Am Soc Nephrol. 2022 Jun;33(6):1105-1119	Original Article
70	Yamamura Y, Furuichi K, Murakawa Y 他	腎臓内科	Identification of candidate PAX2-regulated genes implicated in human kidney development	Sci Rep. 2021 Apr 27;11(1):9123	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
71	Makiishi S, Furuichi K, Yamamura Y 他	腎臓内科	Carnitine/organic cation transporter 1 precipitates the progression of interstitial fibrosis through oxidative stress in diabetic nephropathy in mice	Sci Rep.2021 Apr 27;11(1):9093	Original Article
72	Iwata Y, Sakai N, Nakajima Y 他	腎臓内科	Anti-fibrotic potential of erythropoietin signaling on bone marrow derived fibrotic cell	BMC Nephrol. 2021 May 31;22(1):203	Original Article
73	Oshima M, Toyama T, Hara A 他	腎臓内科	Combined changes in albuminuria and kidney function and subsequent risk for kidney failure in type 2 diabetes	BMJ Open Diabetes Res Care.2021 Jun;9(1):e002311	Original Article
74	Oshima M, Shimizu M, Yamanouchi M 他	腎臓内科	Trajectories of kidney function in diabetes: a clinicopathological update	Nat Rev Nephrol.2021 Nov;17(11):740-750	Review
75	Wada T, Mori-Anai K, Kawaguchi Y 他	腎臓内科	Renal, cardiovascular and safety outcomes of canagliflozin in patients with type 2 diabetes and nephropathy in East and South-East Asian countries: Results from the Canagliflozin and Renal Events in Diabetes with Established Nephropathy Clinical Evaluation Trial	J Diabetes Investig.2022 Jan;13(1):54-64	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
76	Yamamura Y, Furuichi K, Toyama T 他	腎臓内科	Repeated Necrotizing Lymphadenitis with MEFV Gene Mutations	Intern Med.2022;61(7):1105- 1110	Case report
77	Hiroki Mizumaki, Kazuyoshi Hosomichi, Kohei Hosokawa 他	血液内科	A frequent nonsense mutation in exon 1 across certain HLA-A and -B alleles in leukocytes of patients with acquired aplastic anemia	Haematologica . 2021 Jun 1;106(6):1581-1590.	Original Article
78	Takeshi Yoroidaka, Kohei Hosokawa, Tatsuya Imi 他	血液内科	Hematopoietic stem progenitor cells lacking HLA differ from those lacking GPI-anchored proteins in the hierarchical stage and sensitivity to immune attack in patients with acquired aplastic anemia.	Leukemia. 2021 Nov;35(11):3257-3267.	Original Article
79	Hiroyuki Takamatsu, Shinya Yamada, Noriaki Tsuji 他	血液内科	Detection of Antibodies Against Human Leukocyte Antigen Class II in the Sera of Patients Receiving Intravenous Immunoglobulin.	Transplant Direct. 2021 May 18;7(6):e697.	Original Article
80	Noriharu Nakagawa, Ken Ishiyama, Mikoto Tanabe 他	血液内科	The effectiveness of immunosuppressive therapy in patients with aplastic anaemia secondary to chemoradiotherapy for cancers	Br J Haematol. 2021 Dec;195(5):770-780.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
81	Goshi Hagiwara, Masahisa Arahata, Kohei Hosokawa 他	血液内科	Congestive heart failure associated with POEMS syndrome that was adequately distinguished from cardiac amyloidosis: a case report and literature review	Ann Transl Med. 2021 Aug;9(15):1266.	Case report
82	Mikoto Tanabe, Kohei Hosokawa, Mai Anh Thi Nguyen 他	血液内科	The GPI-anchored protein CD109 protects hematopoietic progenitor cells from undergoing erythroid differentiation induced by TGF-	Leukemia. 2022 Mar;36(3):847-855.	Original Article
83	Takeshi Yoroidaka, Kentarō Narita, Hiroyuki Takamatsu 他	血液内科	Comparison of minimal residual disease detection in multiple myeloma between the DuraClone and EuroFlow methods	Sci Rep. 2021 May 27;11(1):11218.	Original Article
84	Shinya Yamada, Hidesaku Asakura 他	血液内科	Coagulopathy and Fibrinolytic Pathophysiology in COVID-19 and SARS-CoV-2 Vaccination	Int J Mol Sci. 2022 Mar 19;23(6):3338.	Review
85	Shinya Yamada, Hidesaku Asakura 他	血液内科	Therapeutic Strategies for Disseminated Intravascular Coagulation Associated with Aortic Aneurysm	Int J Mol Sci. 2022 Jan 24;23(3):1296.	Review

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
86	Shinya Yamada, Hidesaku Asakura 他	血液内科	Vaccine-induced immune thrombotic thrombocytopenia: Update on diagnosis and management considering different resources: Comment from Yamada et al	J Thromb Haemost. 2022 Feb;20(2):540-541.	Letter
87	Shinya Yamada, Masahisa Arahata, Eriko Morishita 他	血液内科	Blue Rubber Bleb Nevus Syndrome Complicated by Enhanced-Fibrinolytic-Type DIC: A Case Report	Ann Vasc Dis. 2021 Sep 25;14(3):252-255.	Case report
88	Shinya Yamada, Haruhiko Ogawa, Hidesaku Asakura 他	血液内科	Etiology and Management of Bleeding during ECMO in a COVID-19 Patient	J Atheroscler Thromb. 2021 Apr 1;28(4):402-403.	Letter
89	Ono K, Watanabe-Nakayama T.	脳神経内科	Aggregation and structure of amyloid beta-protein	Neurochem Int. 2021 Dec; 151: 105208	Review
90	Hamaguchi T, Ono K, Yamada M.	脳神経内科	Transmission of Cerebral beta-Amyloidosis Among Individuals	Neurochem Res. 2022 Mar; Online ahead of print.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
91	Hamaguchi T, Kim JH, Hasegawa A, 他	脳神経内科	Exogenous Abeta seeds induce Abeta depositions in the blood vessels rather than the brain parenchyma, independently of Abeta strain-specific information	Acta Neuropathol Commun. 2021 Sep; 9(1): 151	Original Article
92	Sakai K, Noguchi-Shinohara M, Ikeda T, 他	脳神経内科	Cerebrospinal fluid cytokines and metalloproteinases in cerebral amyloid angiopathy-related inflammation	Acta Neurol Scand. 2021 Apr; 143(4): 450-457	Original Article
93	Noguchi-Shinohara M, Yuki-Nozaki S, Abe C, 他	脳神経内科	Diabetes Mellitus, Elevated Hemoglobin A1c, and Glycated Albumin Are Associated with the Presence of All-Cause Dementia and Alzheimer's Disease: The JPSC-AD Study	J Alzheimers Dis. 2022 Jan; 85(1): 235-247.	Original Article
94	Noguchi-Shinohara M, Koike M, Morise H, 他	脳神経内科	MEG activity of the dorsolateral prefrontal cortex during optic flow stimulations detects mild cognitive impairment due to Alzheimer's disease	PLoS One. 2021 Nov; 16(11): e0259677 (オンライン)	Original Article
95	Sakashita Y, Matsubara T, Takata T, 他	脳神経内科	Lewy pathology of the submandibular gland in Lewy body disease: A report of autopsy cases	Neuropathology. 2021 Dec; 41(6): 476-483	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
96	Hikishima S, Sakai K, Akagi A, 他	脳神経内科	Deterioration after Liver Transplantation and Transthyretin Stabilizer Administration in a Patient with ATTRv Amyloidosis with a Leu58Arg (p.Leu78Arg) TTR Variant	Intern Med. 2022 Mar; Online ahead of print.	Case report
97	Tetsu Hirosawa, Kyung-Min An, Daiki Soma, 他	神経科精神科	「Epileptiform discharges relate to altered functional brain networks in autism spectrum disorders」	Brain Communications 19 August 2021	Original Article
98	Nobushige Naito ,Tetsu Hirosawa, Makoto Tsubomot,他	神経科精神科	Prominent gamma band activity during visual motion perception in early-stage Alzheimer's disease.	PloS one 2022 Apr 18	Original Article
99	Nobushige Naito,Tetsu Hirosawa, Makoto Tsubomot,他	神経科精神科	Japanese local government management of compulsory hospitalization for patients with mental disorders and comorbid COVID-19.	Asian journal of psychiatry 2021 Sep 20	Original Article
100	Sano M, Yoshimura Y, Hirosawa T,	神経科精神科	Joint attention and intelligence in children with autism spectrum disorder without severe intellectual disability.	Autism Res 2021 Aug	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
101	Kikuchi M, Yoshimura Y	神経科精神科	Handbook of Pediatric Brain Imaging: Methods and Applications (Volume 2) Section 3, 18. MEG studies of children	Academic Press 2021 Oct	Others
102	Tadafumi Yokoyama, Mari Yamamiya, Maiko Takakuwa 他	小児科	Recurrent painful ophthalmoplegic neuropathy	J Paediatr Child Health. 2021 Aug;57(8):1303- 1304.	Case report
103	Kazuhiro Noguchi, Ryosei Nishimura, Yasuhiro Ikawa 他	小児科	High-dose Methotrexate-induced Acral Erythema in Two Pediatric Patients With Acute Lymphoblastic Leukemia: A 17 Pediatric Case Series of Methotrexate-induced Acral Erythema	J Pediatr Hematol Oncol. 2021 Nov 1; 43(8): e1259- e1261.	Review
104	Tadafumi Yokoyama, Yuko Tasaki, Natsumi Inoue 他	小児科	Rapid molecular diagnosis of Parechovirus infection using the reverse transcription loop- mediated isothermal amplification technique	PLoS One. 2021 Nov 29;16(11):e0260348.	Others
105	Yuko Tasaki, Natsumi Inoue, Masaki Shimizu 他	小児科	Serum insulin-like growth factor-binding protein 2 levels as an indicator for disease severity in enterohemorrhagic Escherichia coli induced hemolytic uremic syndrome	Ren Fail. 2021 Dec;43(1):382-387.	Others

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
106	Kazuhiro Noguchi, Yasuhiro Ikawa, Mika Takenaka 他	小児科	Characterisation of two tumour cell populations in the small cell variant of anaplastic lymphoma kinase-positive anaplastic large cell lymphoma	Br J Haematol. 2022 Jan;196(1):241-243.	Case report
107	Yasuhiro Ikawa, Mika Takenaka, Yuta Sakai 他	小児科	Utility of 18F-FDG- PET for detecting acute lymphoblastic leukemia: a case series of pediatric acute lymphoblastic leukemia without hematological symptoms	Int J Hematol. 2022 Feb;115(2):287-292.	Case report
108	Toshihiro Fujiki, Ryosei Nishimura, Raita Araki 他	小児科	A subarachnoid pleural fistula with massive crystal-clear pleural fluid caused by a lumbar epidural teratoma	Paediatr Int Child Health. 2022 Mar 17:1-6.	Case report
109	Komori T., Inoue D., Izumozaki A., 他	放射線科	Ultrasonography of IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis: Imaging features and clinical usefulness.	Mod Rheumatol.2021	Original Article
110	Ohno N., Yoshida K., Ueda Y., 他	放射線科	Diffusion-weighted Imaging of the Abdomen during a Single Breath- hold Using Simultaneous-multislice Echo-planar Imaging.	Magn Reson Med Sci.2021	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
111	Okuda M., Kobayashi S., Toyooka K., 他	放射線科	Quantitative differentiation of tendon and ligament using magnetic resonance imaging ultrashort echo time T2* mapping of normal knee joint.	Acta Radiol.2021;28418512110 43834.	Original Article
112	Sugiura T., Okumura K., Matsumoto J., 他	放射線科	Predicting intestinal viability by consecutive photoacoustic monitoring of oxygenation recovery after reperfusion in acute mesenteric ischemia in rats.	Sci Rep.2021;11:19474.	Original Article
113	Sakurai T., Takamatsu S., Shibata S., 他	放射線科	Incidence and dosimetric predictive factors of late rectal toxicity after low-dose-rate brachytherapy combined with volumetric modulated arc therapy in high-risk prostate cancer at a single institution: Retrospective study.	Brachytherapy.2021;20:58 4-94.	Original Article
114	Toshima F., Watanabe R., Inoue D., 他	放射線科	CT Abnormalities of the Pancreas Associated With the Subsequent Diagnosis of Clinical Stage I Pancreatic Ductal Adenocarcinoma More Than 1 Year Later: A Case-Control Study.	AJR Am J Roentgenol.2021;217:1353 -64.	Original Article
115	Makino T., Sakurai T., Takamatsu S., 他	放射線科	The effectiveness of high-dose-rate brachytherapy with external beam radiotherapy for clinically locally advanced and node-positive prostate cancer: long-term results of a retrospective study.	Int J Clin Oncol.2021;26:2310-7.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
116	Kobayashi S.	放射線科	Hepatic pseudolesions caused by alterations in intrahepatic hemodynamics.	World J Gastroenterol.2021;27:78 94-908.	Others
117	Takamatsu A., Yoshida K., Obokata M. 他	放射線科	Urinary collecting system invasion on multiphasic CT in renal cell carcinomas: prevalence, characteristics, and clinical significance.	Abdom Radiol (NY).2021;46:2090-6.	Original Article
118	Osawa T., Ohno N., Mase M. 他	放射線科	Changes in Apparent Diffusion Coefficient (ADC) during Cardiac Cycle of the Brain in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus Before and After Cerebrospinal Fluid Drainage.	J Magn Reson Imaging.2021;53:1200-7.	Original Article
119	Ohno N., Miyati T., Sugita F. 他	放射線科	Quantification of Regional Cerebral Blood Flow Using Diffusion Imaging With Phase Contrast.	J Magn Reson Imaging.2021;54:1678-86.	Original Article
120	Kobayashi S.	放射線科	Editorial for "Using Intravoxel Incoherent Motion and Dynamic Contrast-Enhanced MR Imaging to Early Detect Tissue Injury and Microcirculation Alteration in Hepatic Injury Induced by Intestinal Ischemia Reperfusion in the Rat Model".	J Magn Reson Imaging.2021;54:761-2.	Others

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
121	Kobayashi S.	放射線科	Editorial for "Characteristics and Early Recurrence of Hepatocellular Carcinomas Categorized as LR-M: Comparison with Those Categorized as LR-4 or 5".	J Magn Reson Imaging. 2021;54:1455-6.	Others
122	Kadoya Y., Miyati T., Kobayashi S. 他	放射線科	Evaluation of gravity effect on inferior vena cava and abdominal aortic flow using multi- posture MRI.	Acta Radiol.2021;62:1122-8.	Original Article
123	Nguyen Canh H., Takahashi K., Yamamura M. 他	放射線科	Diversity in cell differentiation, histology, phenotype and vasculature of mass-forming intrahepatic cholangiocarcinomas.	Histopathology.2021;79:7 31-50.	Original Article
124	Hamaguchi T., Miyati T., Ohno N. 他	放射線科	Spatial analysis of acoustic noise transfer function with a human- body phantom in a clinical MRI scanner.	Acta Radiol.2022:28418512211 00079.	Original Article
125	Sugiura T., Okumura K., Sasaki M. 他	放射線科	A low albumin level as a risk factor for transient severe motion artifact induced by gadoxetate disodium administration: A retrospective observational study with free-breathing dynamic MRI and an experimental study in rats.	PLoS One.2022;17:e0265588.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
126	Ohno N., Miyati T., Oyabu H. 他	放射線科	Combined maximum b-value and echo time: A practical method for determining the signal-to-noise ratio for magnetic resonance images.	J Appl Clin Med Phys.2022;23:e13497.	Original Article
127	Toshima F., Inoue D., Yoshida K. 他	放射線科	CT-diagnosed extra-pancreatic extension of pancreatic ductal adenocarcinoma is a more reliable prognostic factor for survival than pathology-diagnosed extension.	Eur Radiol.2022;32:22-33.	Original Article
128	Tanimura I., Yoneda N., Kitao A 他	放射線科	A case of intrahepatic cholangiocarcinoma arising from a simple hepatic cyst via dysplasia and carcinomatous transformation.	Abdom Radiol (NY).2022;47:1954-60.	Case report
129	Sakurai T., Takamatsu S., Shimoyachi N. 他	放射線科	Prediction of post-radiotherapy survival for bone metastases: a comparison of the 3-variable number of risk factors model with the new Katagiri scoring system.	J Radiat Res.2022;63:303-11.	Original Article
130	Okumura K., Kobayashi S., Ogi T. 他	放射線科	Transcatheter arterial embolization of iatrogenic massive arterioportal fistula in the liver.	Acta Radiol.2022;63:867-76.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
131	Sawada K, Hamaguchi Y, Mizumaki K 他	皮膚科	A role for Fc RIIB in the development of murine bleomycin- induced fibrosis	J Dermatol Sci. 2021 Dec; 104: 201-209	Original Article
132	Shintaro Takago , Kenji Iino , Naoki Saito, 他	心臓血管外科	Partial aortic root remodeling for chronic aortic dissection with coronary intimal tear	Gen Thorac Cardiovasc Surg . 2021 Apr;69(4):744-747.	Case report
133	Kenji Iino , Yoshitaka Yamamoto , Hideyasu Ueda, 他	心臓血管外科	Two-patch technique with BioGlue for ventricular septal rupture resulting from acute anterior myocardial infarction	JTCVS Tech . 2022 Feb 26;13:83-86.	Others
134	Masaya Tamura, Isao Matsumoto, Yusuke Tanaka, 他	呼吸器外科	Predicting recurrence of non-small cell lung cancer based on mean computed tomography value.	Journal of Cardiothorac Surgery. 2021 May;16(1):128.	Original Article
135	Daisuke Saito, Isao Matsumoto, Ryuichi Waseda, 他	呼吸器外科	A method to identify pulmonary intersegmental planes with intravenous vitamin B 2 injection	Surgery Today. 2021 May;51(5):836-843.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
136	Yamaguchi T, Fushida S, Kinoshita J 他	消化管外科	A case of primary malignant melanoma of the esophagogastric junction with abscopal effect after nivolumab administration.	Surg Case Rep.7(1):253.2021.Dec	Case report
137	Saito H, Kotake M, Ogawa J 他	消化管外科	Laparoscopic resection of a gastrointestinal stromal tumor that recurred more than 15 years after surgery using lighted ureteral catheters: A case report.	Asian J Endosc Surg.Online ahead of print..2021.Dec	Case report
138	Ninomiya I, Okamoto K, Yamaguchi T 他	消化管外科	Optimization of robot assisted thoracoscopic esophagectomy in the lateral decubitus position	Esophagus.18(3):482-488.2021.Jul	Original Article
139	Kinoshita J, Yamaguchi T, Moriyama H, 他	消化管外科	Current status of conversion surgery for stage IV gastric cancer	Surgery Today.51(11):1736-1754.2021.Nov	Original Article
140	Takahisa Yamaguchi , Jun Kinoshita , Hiroto Saito 他	消化管外科	High CD8/CD33 ratio in peritoneal metastatic lesions is associated with favorable prognosis in gastric cancer	Cancer Rep (Hoboken).4(5):e1389.2021.Oct	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
141	Yamaguchi T, Kinoshita J, Saito H 他	消化管外科	Gastrointestinal stromal tumor metastasis to the ovary: A case report	SAGE Open Med Case Rep.9:2050313X21101251 1.2021.Apr	Case report
142	Kaoru Katano , Noriyuki Inaki , Takahisa Yamaguchi 他	消化管外科	Robot-assisted transhiatal lower esophagectomy and proximal gastrectomy for Siewert type II advanced esophagogastric junction cancer with situs inversus totalis: a case report	Surg Case Rep.14;8(1):40.2022.Mar	Case report
143	Mitsuyoshi Okazaki 、 Hironori Hayashi、 Ryousuke Gabata 他	肝胆膵・移植外科	Analysis of perioperative glucose metabolism using an artificial pancreas	Artif Organs.45(9):998- 1005.2021.May	Original Article
144	Takada S, Ueno Y, Higashi Y, Nishijima K 他	肝胆膵・移植外科	Laparoscopic repair for primary epigastric hernia containing falciform ligament: A case report and review of literature	Asian J Endosc Surg.15(1):188- 191.2022.Jan	Original Article
145	Shintaro Yagi , Takashi Ito, Hisaya Shirai, Siyuan Yao 他	肝胆膵・移植外科	Micro- and macro- borderless surgery using a newly developed high- resolution (4K) three- dimensional video system	PLoS One.16(5):e0250559.2021. May	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
146	Makino I, Tajima H, Kitagawa H, Gabata R 他	肝胆膵・移植外科	Verification of Resectability Status for Pancreatic Cancer: Radiological and Pathological Analysis of Patients Undergoing Pancreatoduodenectomy With Combined Resection of the Superior Mesenteric Artery	Pancreas.51(1):35- 40.2022.Jan	Original Article
147	Seisho Sakai,Kozo Nomura,Taka toshi Abe 他	小児外科	Neuroblastoma with ovarian and pancreatic metastasis	Journal of Pediatric Surgery Case .73.2021.Oct	Case report
148	Yamaguchi T, Kubota M, Naruse H, 他	整形外科	Injuries and illnesses observed in athletes from beginner to elite levels in the 18th National Sports Festival for Persons with Disabilities in Japan	Rehabil Med . 2021 Aug 26;6:20210032.	Original Article
149	Hayashi K, Hiraoka K, Akiyama T, 他	整形外科	Benefit of surgical resection of distant metastasis in soft tissue sarcoma: A systematic review.	Jpn J Clin Oncol. 2021 Jul 1;51(7):1088-1093.	Review
150	Nakase J, Asai K, Yoshimizu R, 他	整形外科	How to detect meniscal ramp lesions using ultrasound	Arthrosc Tech. 2021 May 17;10(6):e1539-e1542.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
151	Tada K, Ikeda K, Tsuchiya H	整形外科	Distal radius fracture with bone fragment protruded into the radiocarpal joint: Two case reports.	J Hand Surg Asian Pac Vol.2021 Sep;26(3):460-462.  nd Surg Asian Pac Vol	Case report
152	Miwa S, Nojima T, Alomesen AA,他	整形外科	Associations of PD-L1, PD-L2, and HLA class I expression with responses to immunotherapy in patients with advanced sarcoma: post hoc analysis of a phase 1/2 trial	Clin Transl Oncol. 2021 Aug;23(8):1620-1629.	Original Article
153	Miwa S, Yamamoto N, Hayashi K,他	整形外科	A Radiological Scoring System for Differentiation between Enchondroma and Chondrosarcoma	Cancers.2021 Jul 16;13(14):3558.	Original Article
154	Miwa S, Yamamoto N, Hayashi K, 他	整形外科	Bone and Soft Tissue Tumors: New Treatment Approaches	Cancers. 2021 Apr 12;13(8):1832.	Review
155	Inoue D, Kabata T, Kajino Y,他	整形外科	Comparison of mid-term clinical results between cementless and cemented femoral stems in total hip arthroplasty with femoral shortening osteotomy for Crowe type IV hips.	Arch Orthop Trauma Surg.2021 Jun;141(6):1057-1064.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
156	Inoue D, Grace T, Restrepo C, 他	整形外科	Outcomes of simultaneous bilateral total hip arthroplasty for 256 selected patients in a single surgeon's practice	Bone Joint J . 2021 Jul;103-B(7 Supple B):116-121.	Original Article
157	Yonezawa H, Hayashi K, Yamamoto N, 他	整形外科	Significant Improvement After Surgery for a Symptomatic Osteoblastoma in a Patient with Camurati-Engelmann Disease: Case Report and Literature Review.	Calcif Tissue Int. 2021 Jun;108(6):819-824.	Case report
158	Morinaga S, Miwa S, Yamamoto N, 他	整形外科	Clinical characteristics of patients with undergoing unplanned excisions of malignant soft tissue tumors	J Orthop Surg (Hong Kong) .2021 Sep-Dec;29(3):23094990211057597.	Original Article
159	Nakamura Y, Tada K, Matsuta M, 他	整形外科	Anaphylactic Reactions Caused by Nafamostat Mesylate during Hemodialysis before Surgery for Carpal Tunnel Syndrome	Case Rep Nephrol. 2021 Dec 29;2021:1148156.	Original Article
160	Taniguchi Y, Ohara T, Suzuki S, 他	整形外科	Incidence and Risk Factors for Unplanned Return to the Operating Room Following Primary Definitive Fusion for Pediatric Spinal Deformity: A Multicenter Study with Minimum Two-Year Follow-Up	Spine (Phila Pa 1976) . 2021 Apr 15;46(8):E498-E504.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
161	Demura S, Kato S, Shinmura K, 他	脊椎・脊髄外科	Perioperative complications of total en bloc spondylectomy for spinal tumours.	Bone Joint J.2021 May;103-B(5):976-983.	Original Article
162	Kato S, Demura S, Murakami H, 他	脊椎・脊髄外科	Clinical outcomes and prognostic factors following the surgical resection of renal cell carcinoma spinal metastases.	Cancer Sci.2021 Jun;112(6):2416-2425.	Original Article
163	Kato S, Demura S, Shinmura K, 他	脊椎・脊髄外科	Surgical Metastasectomy in the Spine: A Review Article.	Oncologist. 2021 Oct;26(10):e1833-e1843.	Review
164	Kato S, Demura S, Tsuchiya H	脊椎・脊髄外科	In Reply. Regarding Surgical Metastasectomy in the Spine: A Review Article.	Oncologist. 2021.26: e2098,	Review
165	Kato S, Demura S, Shinmura K,	脊椎・脊髄外科	Current management of bone metastases from differentiated thyroid cancer.	Cancers. 2021 Sep 2;13(17):4429.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
166	HIROAKI IWAMOTO, YOSHIFUMI KADONO, RYUNOSUK E NAKAGAWA ,他	泌尿器科	Examination of Necessity for Pelvic Drain Placement After Robot-assisted Radical Prostatectomy	in vivo 35: 2895-2899	Original Article
167	Iwamoto H, Kano H, Shimada T, Naito R, Makino T, 他	泌尿器科	Effectiveness of Vintage Hormone Therapy as Alternative Androgen Deprivation Therapy for Non-metastatic Castration-resistant Prostate Cancer.	In Vivo.;35(2):1247-1252	Original Article
168	Iwamoto H, Kano H, Shimada T, 他	泌尿器科	Sarcopenia and Visceral Metastasis at Cabazitaxel Initiation Predict Prognosis in Patients With Castration-resistant Prostate Cancer Receiving Cabazitaxel Chemotherapy.	In Vivo.;35(3):1703-1709.	Original Article
169	Kadono Y, Kawaguchi S, Nohara T, 他	泌尿器科	Favorable Response of Pembrolizumab as Second-Line Therapy for Advanced Urothelial Carcinoma with Only Small Lesions to not be Considered Measurable by RECIST	Urol J. Dec 20. Online ahead of print	Original Article
170	Kadono Y, Nohara T, Kawaguchi S, 他	泌尿器科	Investigating the mechanism underlying urinary continence using dynamic MRI after Retzius-sparing robot- assisted radical prostatectomy.	Sci Rep. 2022 Mar 10;12(1):3975. doi: 10.1038/s41598-022- 07800-5.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
171	Yoshifumi Kadono	泌尿器科	Editorial Comment to Deep lateral transurethral incision for vesicourethral anastomotic stenosis after radical prostatectomy	Int J Urol 28(11):1126-1127	Others
172	Yoshifumi Kadono	泌尿器科	Editorial Comment to Comparison of disease-specific quality of life in prostate cancer patients treated with low-dose-rate brachytherapy: A randomized controlled trial of silodosin versus naftopidil	Int J Urol 28(11):1177	Others
173	Kouji Izumi , Hiroaki Iwamoto , Hiroshi Yaegashi , 他	泌尿器科	Androgen replacement therapy for cancer-related symptoms in male: result of prospective randomized trial (ARTFORM study)	Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 12: 831-842	Original Article
174	Nakagawa R, Iwamoto H, Makino T, 他	泌尿器科	Analysis of the Safety of Pegfilgrastim Addition in Bleomycin, Etoposide, and Cisplatin Treatment Patients with Germ Cell Tumors	Front. Oncol :eCollection	Original Article
175	Nohara T, Kadomoto S, Iwamoto H, 他	泌尿器科	Test clamp procedure in robot-assisted partial nephrectomy: is it a safe procedure?	J Robot Surg 16: 633-639	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
176	Takahiro Nohara	泌尿器科	Editorial Comment to Prevalence and predictors of postoperative detrusor underactivity after robot-assisted radical prostatectomy: A prospective observational study.	Int J Urol 28(7):740-741	Letter
177	Takahiro Nohara, Taiki Kamijima, Rie Fukuda, 他	泌尿器科	Variations in photodynamic diagnosis for bladder cancer due to the quality of endoscopic equipment	Photodiagnosis and Photodynamic Therapy. 37:102628	Original Article
178	Takahiro Nohara, Takashi Shima, Kazuyoshi Shigehara, 他	泌尿器科	Parenchymal Suture- Assisted Inner Suture Method: Tips to Achieve a Reliable Inner Suture in Partial Nephrectomy	Videourology 35, No. 8	Others
179	Suguru Kadomoto , Kouji Izumi , Atsushi Mizokami	泌尿器科	Macrophage Polarity and Disease Control	Int J Mol Sci 23(1):144 doi: 10.3390/ijms23010144.	Review
180	Suguru Kadomoto , Kouji Izumi and Atsushi Mizokami	泌尿器科	Roles of CCL2-CCR2 Axis in the Tumor Microenvironment	Int. J. Mol. Sci. 22(16):8530	Review

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
181	TAKAFUMI SHIMADA, KOUJI IZUMI, HIROSHI KANO, 他	泌尿器科	Ra-223 and Ethinylestradiol Combination Therapy in Castration-resistant Prostate Cancer	ANTICANCER RESEARCH 42(2):1065- 1071	Original Article
182	Daisuke Takemoto, Shinji Ohkubo, Sachiko Udagawa他	眼科	A Case of Recurrent Painful Ophthalmoplegic Neuropathy Successfully Treated with Beta- blocker Eye Drop Instillation.	Neuro- Ophthalmology.45(5):320- 323,2021	Original Article
183	Hideaki Yokogawa, Akira Kobayashi, Yuko Takemoto他	眼科	Development of Cytomegalovirus Corneal Endotheliitis During Long-Term Topical Tacrolimus and Steroid Treatment for Chronic Ocular Surface Inflammatory Diseases.	Cornea. 40(11):1491- 1497,2021	Original Article
184	Hideaki Yokogawa, Akira Kobayashi, Natsuko Mori 他	眼科	Intraoperative optical coherence tomography- guided nanothin Descemet stripping automated endothelial keratoplasty in a patient with a remarkably thickened cornea.	American Journal of Ophthalmology Case Reports	Case report
185	Kase K, Kondo S, Wakisaka N, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科	Epstein -Barr Virus LMP1 Induces Soluble PD-L1 in Nasopharyngeal Carcinoma	Microorganisms 9(3):603, 2021	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
186	Endo K, Ueno T, Hirai N, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Low Skeletal Muscle Mass Is a Risk Factor for Aspiration Pneumonia During Chemoradiotherapy	Laryngoscope 131(5):E1524-E1529 2021 (オンライン)	Original Article
187	Makita H, Endo K, Kasahara Y, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Xenografts derived from patients with head and neck cancer recapitulate patient tumour properties	Oncology Letters 21(5):385 2021	Original Article
188	Kazuhira Endo , Takayoshi Ueno, Nobuyuki Hirai, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	In Response to Low Skeletal Muscle Mass Is a Risk Factor for Aspiration Pneumonia	Laryngoscope 132(2):E4 2022 (オンライン)	Original Article
189	Hongyang Li, Tomokazu Yoshizaki, Lian Liang, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Assessing the effects of Kampo medicine on human skin texture and microcirculation	Artificial Life and Robotics 27(1):64-9 2022	Original Article
190	Hosono T, Ono M, Daikoku T 他	産科婦人科	Time-Restricted Feeding Regulates Circadian Rhythm of Murine Uterine Clock.	Curr Dev Nutr. 2021 Apr; 5(5):nzab064.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
191	Nakashima M, Iizuka T, Kagami K 他	産科婦人科	Amniotic band syndrome in a monozygotic diamniotic twin pregnancy after rupture of the dividing membrane in the early second trimester: A case report.	BMC Pregnancy Childbirth. 2021 Jun; 21(1):456.	Case report
192	Orisaka S, Nakamura M, Obata T 他	産科婦人科	A case of synchronous high-grade cervical intraepithelial neoplasia and metastatic squamous cell carcinomas of unknown primary in rectum.	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Jul; 47(7):2555-2559.	Case report
193	Yamazaki R, Ono M, Sugie T 他	産科婦人科	Case-based survey: The impact of breast-cancer treatment on fertility in Japan.	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Mar; 48(3):553-562.	Original Article
194	Kouichi Misaki, Kazuya Futami, Takehiro Uno, 他	脳神経外科	Inflow hemodynamics of intracranial aneurysms: A comparison of computational fluid dynamics and 4D flow magnetic resonance imaging	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 30: 105685, 2021 May	Original Article
195	Kenji Yoshiki, Yasuo Sasagawa, Masaya Shimojima, 他	脳神経外科	Thyrotropin-secreting pituitary adenomas induce left atrial enlargement with subclinical atrial fibrillation: an echocardiographic study	Pituitary. 24:778-786. 2021 Oct	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
196	Kenji Yoshiki, Genjiro Hirose, Kazuhiko Kumahashi 他	脳神経外科	Follow-up study of a patient with early onset cerebral amyloid angiopathy following childhood cadaveric dural graft	Acta Neurochirurgica. 163:1451-1455. 2021 May	Case report
197	Munehiro Demura, Masahiro Oishi, Naoyuki Uchiyama 他	脳神経外科	Limb-shaking syndrome derived from the contralateral hemisphere following unilateral revascularisation for moyamoya disease.	Surgical Neurology International. 23:579, 2021 Nov	Case report
198	Wataru Uchida, Tomoya Kamide, Takehiro Uno 他	脳神経外科	Ocular ischemic syndrome due to severe internal carotid artery stenosis improved by intracranial stent placement: A case report	Surgical Neurology International. 21:294. 2021 Jun	Case report
199	Takehiro Uno, Kouichi Misaki, Kazuya Futami 他	脳神経外科	Hemodynamic factor evaluation using computational fluid dynamics analysis for de novo bleb formation in unruptured intracranial aneurysms	Neurological Sciences. 43(3):1849-1857 2022 Mar	Original Article
200	Kazuya Morita , Naoyuki Matsumoto , Kengo Saito 他	脳神経外科	BMP signaling alters aquaporin-4 expression in the mouse cerebral cortex	Scientific Reports. 18;11(1):10540. 2021 May	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
201	Xiaoliang Liu, Masashi Kinoshita, Harumichi Shinohara 他	脳神経外科	A Fiber Dissection Study of the Anterior Commissure: Correlations with Diffusion Spectrum Imaging Tractography and Clinical Relevance in Gliomas.	Brain Topography .35(2):232-240 2022 Mar;	Original Article
202	Toshiya Ichinose, Kouichi Misaki, Naoyuki Uchiyama 他	脳神経外科	Late complications of visual impairment and hydrocephalus after flow diverter-assisted coil embolisation for intracranial large aneurysm: a case report and literature review	British journal of Neurosurgery . 11;1-5. 2022 Jan	Case report
203	Hiomasa T, wakabayashi H, Kayano D, Inaki A, 他	核医学	Prognostic factors for refractory pheochromocytoma and paraganglioma after (131) I- metaiodobenzylguanidine therapy.	Ann Nucl Med 2022; 36: 61-69	Original Article
204	Inaki A, Shiga T, Tsushima Y, 他	核医学	An open-label, single-arm, multi-center, phase II clinical trial of single-dose [131I]metaiodobenzylguanidine therapy for patients with refractory pheochromocytoma and paraganglioma	Ann Nucl Med 2022; 36: 267-278	Original Article
205	Mori H, Taki J, Wakabayashi H, 他	核医学	Colchicine treatment early after infarction attenuates myocardial inflammatory response demonstrated by 14C-methionine imaging and subsequent ventricular remodeling by quantitative gated SPECT.	Ann Nucl Med 2021; 35: 253-259	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
206	Nakajima K, Mizokami A, Matsuyama H 他	核医学	Prognosis of patients with prostate cancer and bone metastasis from the Japanese Prostatic Cancer Registry of Standard Hormonal and Chemotherapy Using Bone Scan Index cohort study.	Int J Urol 2021; 28: 955-963	Original Article
207	Nakajima K, Okuda K, Komatsu J.	核医学	What does diagnostic threshold mean? Deterministic and probabilistic considerations	J Nucl Cardiol 2021; 28: 1702-1706	Others
208	Nakajima K, Okuda K, Maruyama K	核医学	Demystifying dyssynchrony for diagnosis and prognosis: Tips for measuring heterogeneous phase distribution.	J Nucl Cardiol 2021; 28: 1064-1067	Others
209	Nakajima K, Wakabayashi H	核医学	Value of combined perfusion and metabolic tracers versus stress – rest perfusion imaging for coronary heart disease	J Nucl Cardiol 2021; 28: 3081-3084	Others
210	Saito S, Nakajima K, Edenbrandt L,他	核医学	Convolutional neural network-based automatic heart segmentation and quantitation in 123I-metaiodobenzylguanidine SPECT imaging.	EJNMMIRes 2021; 11: 105 (オンライン)	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
211	Wakabayashi H, Taki J, Mori H他	核医学	Visualization of Dynamic Expression of Myocardial Sigma-1 Receptor After Myocardial Ischemia and Reperfusion Using Radioiodine-Labeled 2- [4-(2- iodophenyl)piperidino]cy clopentalol (OI5V) Imaging	Circ J 2021; 85: 2102- 2108	Original Article
212	Watanabe S, Nakajima K, Wakabayashi H,他	核医学	Volumetric evaluation of 99mTc-pyrophosphate SPECT/CT for transthyretin cardiac amyloidosis: Methodology and correlation with cardiac functional parameters.	J Nucl Cardiol 2021; EPUB	Original Article
213	Yamase T, Taki J, Wakabayashi H,他	核医学	Feasibility of 125 I- RGD uptake as a marker of angiogenesis after myocardial infarction.	Ann Nucl Med 2022;36:235-243	Original Article
214	Yamashita- Futani Y, Jokaji R, Ooi K 他	歯科口腔外科	Metalloelastase-12 is involved in the temporomandibular joint inflammatory response as well as cartilage degradation by aggrecanases in STR/Ort mice	Biomedical Reports 2021 Jun;14(6):51	Original Article
215	Jokaji R, Ooi K, Yahata T 他	歯科口腔外科	Evaluation of factors related to morphological masseter muscle changes after preoperative orthodontic treatment in female patients with skeletal class III dentofacial deformities	BMC Oral Health 2022 Jul 17;22(1):292.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
216	Ide K, Takahashi S, Sakai K 他	歯科口腔外科	The dipeptide prolyl-hydroxyproline promotes cellular homeostasis and lamellipodia-driven motility via active $\alpha$ 1-integrin in adult tendon cells.	J Biol Chem. 2021 Jul;297(1)	Original Article
217	Ooi K, Inoue N, Matsushita K, 他	歯科口腔外科	Body Weight Loss After Orthognathic Surgery: Comparison Between Postoperative Intermaxillary Fixation with Metal Wire and Elastic Traction, Factors Related to Body Weight Loss	J Maxillofac Oral Surg.2021 Mar;20(1):95-99	Original Article
218	Yoshikazu Goro, Akira Funada, Tetsuo Maeda 他	救急科	Association of dispatcher-assisted cardiopulmonary resuscitation with initial shockable rhythm and survival after out-of-hospital cardiac arrest	Eur J Emerg Med. 29(1):42-48, 2022 Feb	Original Article
219	Yoshikazu Goro, Akira Funada, Tetsuo Maeda 他	救急科	Dispatcher-assisted conventional cardiopulmonary resuscitation and outcomes for paediatric out-of-hospital cardiac arrests.	Resuscitation. 172:106-114, 2022 March	Original Article
220	Yoshikazu Goro, Akira Funada, Tetsuo Maeda 他	救急科	Association of subsequent treated shockable rhythm with outcomes after paediatric out-of-hospital cardiac arrests: A nationwide, population-based observational study	Resusc Plus 9;8:100181, 2021 Nov (オンライン)	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
221	Yoshikazu Goro, Akira Funada, Tetsuo Maeda 他	救急科	Dispatcher instructions for bystander cardiopulmonary resuscitation and neurologically intact survival after bystander-witnessed out-of-hospital cardiac arrests: A nationwide, population-based observational study.	Critical Care 25: 408, 2021 Nov (オンライン)	Original Article
222	Yoshiyasu Miyajima , Tadashi Toyama , Mika Mori 他	検査部	Relationships between kidney dysfunction and left ventricular diastolic dysfunction: a hospital- based retrospective study	Journal of Nephrology.2021.6; 34(3):773-780	Original Article
223	Hiroto Yoneyama , Kenichi Nakajima , Junichi Taki 他	放射線部	Comparison of myocardial ischemia detection between semiconductor and conventional anger-type three-detector SPECT.	Annals of Nuclear Cardiology 7(1):49-56, 2021.	Original Article
224	Masako Ohno , Naoki Ohno , Tosiaki Miyati 他	放射線部	Triexponential Diffusion Analysis of Diffusion- weighted Imaging for Breast Ductal Carcinoma in Situ and Invasive Ductal Carcinoma.	Magnetic Resonance in Medical Sciences 20(4):396-403, 2021.	Original Article
225	Ikufumi Takahasi, Taro, Matsuzaki, Hiroshi Kuroki 他	リハビリテーション部	Physiological Reloading Recovers Histologically Disuse Atrophy of the Articular Cartilage and Bone by Hindlimb Suspension in Rat Knee Joint	Cartilage 13(2) : 1530- 1539	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
226	Ikufumi Takahasi, Taro, Matsuzaki, Hiroshi Kuroki 他	リハビリテーション部	Reduction of knee joint load suppresses cartilage degeneration, osteophyte formation, and synovitis in early-stage osteoarthritis using a post-traumatic rat model	Plos one 16(7) :e0254383	Original Article
227	Shinya Yoshida, Goro Sakurai, Tetsutaro Yahata	リハビリテーション部	Prevalence of low skeletal muscle quantity and quality and their associated factors in patients before allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Internal and Emergency Medicine 17(2): 451-456, 2022 Mar.	Original Article
228	Takuya Sengoku, Junsuke Nakase, Kazuki Asai 他	リハビリテーション部	The effect of gracilis tendon harvesting in addition to semitendinosus tendon harvesting on knee extensor and flexor strength after anterior cruciate ligament reconstruction	Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery. 142(3):465-470. 2022 Mar.	Original Article
229	Takuya Sengoku, Junsuke Nakase, Yui Morita 他	リハビリテーション部	Anterior cruciate ligament reconstruction with ultrasoundguided femoral nerve block does not adversely affect knee extensor strength beyond that seen with intravenous patientcontrolled analgesia at 3 and 6 months postoperatively	The Knee. 34:252-258. Epub 2022 Jan. (オンライン)	Original Article
230	Yuki Kurokawa, Satoshi Kato, Satoru Demura 他	リハビリテーション部	Validation and comparison of trunk muscle activities in male participants during exercise using an innovative device and abdominal bracing maneuvers	Journal of Musculoskeletal Rehabilitation. 35(3):5890596.2022	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
231	Kohei Hosokawa , Ken Ishiyama, Toshiyuki Ikemoto 他	高密度無菌治療部	The clinical significance of PNH-phenotype cells accounting for < 0.01% of total granulocytes detected by the Clinical and Laboratory Standards Institute methods in patients with bone marrow failure.	Ann Hematol. 2021 Aug;100(8):1975-1982.	Original Article
232	Kohei Hosokawa, Go Aoki, Kinya Ohata 他	高密度無菌治療部	Effectiveness of hyperbaric oxygen therapy for virus-associated hemorrhagic cystitis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol. 2021 Jul;114(1):109-115.	Original Article
233	Kohei Hosokawa, Hiroki Mizumaki, Takeshi Yoroidaka 他	高密度無菌治療部	HLA class I allele-lacking leukocytes predict rare clonal evolution to MDS/AML in patients with acquired aplastic anemia	Blood. 2021 Jun 24;137(25):3576-3580.	Letter
234	Kohei Hosokawa, Shinji Nakao	高密度無菌治療部	Assay sensitivity of flow cytometric PNH analysis: response to Brando and Gatti	Ann Hematol. 2022 Feb;101(2):461-464.	Letter
235	Koji Sato, Junji Genda, Ryoya Minabe 他	集中治療部	Characteristics of Japanese Electrolaryngeal Speech Produced by Untrained Speakers: An Observational Study Involving Healthy Volunteers	Journal of Speech, Language, and Hearing Research 64(10):3786-3793, 2021 Oct	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
236	Hirofumi Okafuji, Noriho Iida, Kazuya Kitamura 他	集中治療部	Oral Corticosteroids Impair Mucin Production and Alter the Posttransplantation Microbiota in the Gut.	Digestion 18:1-18, 2022 Feb	Original Article
237	Taro Yamashita, Naohiko Koshikawa, Tetsuro Shimakami 他	総合診療部	Serum laminin 2 monomer as a novel diagnostic and predictive biomarker for hepatocellular carcinoma.	Hepatology 74(2):760-775, 2021 Aug	Original Article
238	Yamashita T, Osawa S, Ota K 他	総合診療部	Interdisciplinary groups perform better than intradisciplinary groups in online group discussion activities.	Med Educ Online. 2021 Dec;26(1):1886649. (オンライン)	Original Article
239	Nagaya S, Maruyama K, Watanabe A, 他	遺伝診療部	First report of inherited protein S deficiency caused by paternal PROS1 mosaicism.	Haematologica.	Case report
240	Yoshitaka Zaimoku, Bhavisha A Patel, Sharon D Adams 他	感染制御部	HLA associations, somatic loss of HLA expression, and clinical outcomes in immune aplastic anemia.	Blood. 2021 Dec 30;138(26):2799-2809.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
241	Yoshitaka Zaimoku 1, Bhavisha A Patel 2, Ruba Shalhoub 他	感染制御部	Predicting response of severe aplastic anemia to immunosuppression combined with eltrombopag.	Haematologica. 2022 Jan 1;107(1):126-133.	Original Article
242	Sato S, Tanimoto A, Yano S 他	がんセンター	Multi-institutional survey of cancer disparities in disabled patients in the region of northwestern Japan.	Int J Clin Oncol . 2021 Jun, 26(6):1009- 1014	Original Article
243	Nishiyama A, Hattori Y, Yano S 他	がんセンター	Severe skin toxicity caused by sequential anti-PD-1 antibody and alectinib in non-small- cell lung cancer: a report of two cases and a literature review.	Intern Med . 2022 Jun 1;61(11):1735- 1738.	Review
244	Suzuki C, Kiyota N, Imamura Y 他	がんセンター	Exploratory analysis to predict optimal tumor burden for starting lenvatinib in patients with radioiodine- refractory differentiated thyroid cancer.	Front Oncol . 2021 Jul 8;11:638123.	Original Article
245	Sakaguchi H, Tanimoto A, Yano S 他	がんセンター	Mediastinal malignant melanoma markedly shrinking in response to nivolumab.	Intern Med . 2022 Jan 1;61(1):75-79.	Case report

5件

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
246	Sakaguchi H, Tanimoto A, Yano S 他	がんセンター	Clinical outcome of inoperable pancreatic cancer pTreated with FOLFIRINOX or gplus nab-paclitaxel as a first-line therapy: a retrospective analysis.	Medicine International 2021July 8	Original Article
247	Takahara S, Saito T, Kawakami T, Imai Y 他	先端医療開発センター	A use-case analysis of Clinical Data Interchange Standards Consortium/Study Data Tabulation Model in Academia in an Investigator-Initiated Clinical Trial.	Nagoya J Med Sci 84: 120-132, 2022.	Original Article
248	Nomura A, Noguchi M, Kometani M 他	先端医療開発センター	Artificial Intelligence in Current Diabetes Management and Prediction.	Current Diabetes Reports. 2021 Dec 13;21(12):61.	Original Article
249	Nomura A, Sato T, Tada H 他	先端医療開発センター	Polygenic risk scores for low-density lipoprotein cholesterol and familial hypercholesterolemia.	Journal of Human Genetics. 2021 Nov;66(11):1079-1087.	Original Article
250	Isoda K, Nakade J, Suga Y 他	薬剤部	Initial Serum C-reactive Protein Level as a Predictor of Increasing Serum Vancomycin Concentration During Treatment	Ther Drug Monit. 43(5): 652-656, 2021 Oct.	Original Article

5件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別	
251	Ueda R, Yamamoto N, Hori Y 他	薬剤部	Risk factors for interstitial lung disease induced by gemcitabine plus albumin-bound paclitaxel therapy in pancreatic ductal adenocarcinoma patients	J Pharm Health Care Sci 8:5 2022, Feb.	Original Article	
252	Taniguchi Y, Wakabayashi H, Yoneyama H他	看護部	Application of a tungsten apron for occupational radiation exposure in nursing care of children with neuroblastoma during 131I-meta-iodo- benzyl-guanidine therapy.	Sci Rep 2021; 12: 47 (オ ンライン)	Original Article	
253	Nguyen Thi Le Ha, Nagase Keisuke	経営企画部	Patient satisfaction and loyalty to the healthcare organization	International Journal of Pharmaceutical and Healthcare Marketing 2021/07;15:496-515	Original Article	3件
						計 253 件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭者等の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

## (1) 倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 手順書の主な内容</p> <p>審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項</p>	
倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に  印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

## (2) 利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 規定の主な内容</p> <p>委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織及び組織運営に関する事項</p>	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 2 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

## (3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年12回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わる予定の者を対象に、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他生命科学・医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施</p>	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 1 研修の内容

各専門研修プログラムに沿って各診療科に所属し、大学病院及び連携病院を循環しながら修練を行い、それぞれの専門医、あるいは認定医の資格取得を目指します。  
また、診療技術の習得だけでなく臨床研究も行う事が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

## 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	162人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

## 3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山下 太郎	消化器内科	科長	27年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	34年	
川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	35年	
矢野 聖二	呼吸器内科	科長	32年	
高村 雅之	循環器内科	科長	29年	
坂井 宣彦	腎臓内科	科長	26年	
宮本 敏浩	血液内科	科長	32年	
小野 賢二郎	脳神経内科	科長	26年	
菊知 充	神経科精神科	科長	28年	
和田 泰三	小児科	科長	30年	
小坂 一斗	放射線科	科長	22年	
高松 繁行	放射線治療科	科長	21年	
松下 貴史	皮膚科	科長	23年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	37年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	31年	
稲木 紀幸	消化管外科	科長	25年	
八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	科長	25年	
寺川 裕史	乳腺外科	科長	14年	
酒井 清祥	小児外科	科長	20年	
土屋 弘行	整形外科	科長	39年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	35年	
杉山 和久	眼科	科長	38年	
吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	36年	
藤原 浩	産科婦人科	科長	39年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	31年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	28年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	36年	
野村 英樹	総合診療科	科長	34年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション科	科長	30年	
岡島 正樹	救急科	科長	26年	
池田 博子	病理診断科	科長	20年	
谷口 巧	集中治療部	部長	31年	
矢野 聖二	がんセンター	センター長	32年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	34年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容            新規採用職員オリエンテーション（詳細別添*新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、集合研修は中止とし各所属部署での配付資料・動画視聴を用いた学習を実施）            新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。</li> <li>・ 研修の期間・実施回数            令和3年4月1日（木）～4月23日（金）</li> <li>・ 研修の参加人数            128名（うち、医師・歯科医師以外の者は97名）</li> </ul>
業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容            情報セキュリティe-ラーニング</li> <li>・ 研修の期間・実施回数            令和3年4月12日（月）～6月23日（水）</li> <li>・ 研修の参加人数            1,534名</li> </ul>
他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容</li> <li>・ 研修の期間・実施回数</li> <li>・ 研修の参加人数</li> </ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

「講義及び講師一覧」令和3年度新規採用職員オリエンテーション  
 【集合研修は実施せず、各所属部署での配付資料を用いた学習を実施。】

講義（研修）内容	講師		資料番号
訓示・病院の概要について	病院長	蒲田 敏文	1
経営概要について	病院長補佐（経営企画・医療情報担当）	長瀬 啓介	2
個人情報の取り扱いについて 病院情報システムの利用について	経営企画部長	長瀬 啓介	3-1 3-2 3-3 3-4
診療報酬制度について	医事課長	山田 浩美	4
事務手続き等について	総務課各係	総務係・人事係・労務係	別配付
ハラスメントの防止について	学長補佐（ハラスメント防止担当）	吉川 一義	5
チーム医療と看護業務	看護部副看護部長（総務担当）	國枝 美代子	6
感染対策について	感染制御チーム（ICT）医師	岩田 恭宜	7-1
	感染制御チーム（ICT）薬剤師	橋本 さつき	7-2
	感染制御チーム（ICT）臨床検査技師	前河 晶子	7-3
	感染制御チーム（ICT）看護師	中村 洋子	7-4
臨床倫理について	臨床倫理コンサルティングチーム	山崎 宏人	8
本院の財務について 本学が経理する全ての経費の適正な執行について	経営管理課	元谷内 洋志 榎原 修	9-1 9-2
情報セキュリティ対策について	情報部情報推進課	情報推進係	10
防火管理について	総務課総務係	横山 公輝	11-1 11-2
	看護部看護師長	土本 千春	11-3
リスクマネジメントについて （インフォームドコンセント、輸血に係る説明を含む）	医療安全管理部長	谷内江 昭宏	12-0
	医療安全管理部GRM（医師）	佐藤 晃一	12-1
	医療安全管理部GRM（看護師）	山崎 真由美	12-2
	医療安全管理部GRM（薬剤師）	増江 俊子	12-3
	ME機器管理センター臨床工学技士長	櫻井 修	12-4
医療人として必要な基本姿勢・態度 （「患者さんの権利」及び「患者さんに守っていただくこと」を含む）	看護部副看護部長（教育担当）	小川 外志江	13-1
	看護部副看護部長（GRM）	山崎 真由美	13-2
	医療支援課長	木下 久美子	13-3
遺伝情報の扱いについて	遺伝診療部長	渡邊 淳	14
医療用放射線の安全性について	放射線部診療放射線技師長	松浦 幸広	15

令和3年3月23日

オリエンテーション受講対象者の所属する部署 御中

病院部総務課労務係

令和3年度新規採用職員オリエンテーション（代替措置）の  
実施について（依頼）

標記について、オリエンテーション（代替措置）に係る資料を3月末までに各部署へ送付しますので、新規採用職員への配付及び資料を利用した所属部署での学習実施について、よろしくお取り計らい願います。

なお、「感染対策について」及び「リスクマネジメントについて」は、下記のとおり感染制御部及び医療安全管理部による動画上映会が行われますので、受講方よろしく願います。（看護部は除きます。）

また、各部署における実施状況を確認したいため、4月23日（金）までに実施報告を提出くださるよう併せて願います。参考までに、報告見本を添付しますので、ご利用ください。

記

【動画上映会（宝ホール）】 今回配付した「資料」を持参願います

実施日：4月5日（月）

対象者：医療技術職員（看護部除く）および研修医

「リスクマネジメントについて」： 8時30分～10時15分（予定）

「感染対策について」： 10時30分～12時15分（予定）

(様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器内科長 山下 太郎</li> <li>・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘</li> <li>・循環器内科長 高村 雅之</li> <li>・血液内科長 宮本 敏浩</li> <li>・脳神経内科長 小野 賢二郎</li> <li>・小児科長 和田 泰三</li> <li>・放射線科長 小坂 一斗</li> <li>・皮膚科長 松下 貴史</li> <li>・心臓血管外科長 竹村 博文</li> <li>・呼吸器外科長 松本 勲</li> <li>・肝胆膵・移植外科長 八木 真太郎</li> <li>・小児外科長 酒井 清祥</li> <li>・脊椎・脊髄外科長 出村 諭</li> <li>・眼科長 杉山 和久</li> <li>・産科婦人科長 藤原 浩</li> <li>・脳神経外科長 中田 光俊</li> <li>・歯科口腔外科長 川尻 秀一</li> <li>・救急科長 岡島 正樹</li> <li>・薬剤部長 崔 吉道</li> <li>・経営管理課長 辻田 恵</li> <li>・医療支援課長 木下 久美子</li> <li>・内分泌・代謝内科長 篁 俊成</li> <li>・呼吸器内科長 矢野 聖二</li> <li>・腎臓内科長 坂井 宣彦</li> <li>・総合診療科長 野村 英樹</li> <li>・神経科精神科長 菊知 充</li> <li>・子どものこころの診療科長 菊知 充</li> <li>・放射線治療科長 高松 繁行</li> <li>・形成外科長 小室 明人</li> <li>・消化管外科長 稲木 紀幸</li> <li>・乳腺科長 寺川 裕史</li> <li>・整形外科長 土屋 弘行</li> <li>・泌尿器科長 溝上 敦</li> <li>・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一</li> <li>・麻酔科蘇生科長 谷口 巧</li> <li>・核医学診療科長 絹谷 清剛</li> <li>・リハビリテーション科長 八幡 徹太郎</li> <li>・病理診断科長 池田 博子</li> <li>・総務課長 東川 純也</li> <li>・医事課長 山田 浩美</li> </ul>	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課
		各科診療日誌	医事課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	看護部、医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	医事課
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営管理課、医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営管理課 医薬保健系事務部
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部

に掲げる事項 規則第一條の十一第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医療支援課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医療支援課
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医療支援課
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME機器管理センター、放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医療支援課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		監査委員会の設置状況	総務課、医療支援課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課、医療支援課
		職員研修の実施状況	医療支援課、総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務部		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	病院長 蒲田 敏文
閲覧担当者氏名	総務課長 東川 純也
閲覧の求めに応じる場所	・会議室
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>諸記録の開示(閲覧を含む)を請求する者(以下「開示請求者」)は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。</p> <p>国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。</p> <p>開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。</p>	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

## ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## 規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組む、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が 2 回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 ( 有・無 )</p> <p>・ 開催状況：年 1 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること。</p> <p>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</p> <p>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</p> <p>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</p> <p>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</p> <p>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</p> <p>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。</p>	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <p>対面及び E-learning にて実施</p> <p>・ 医療安全管理マニュアル改訂のポイント (対面開催日 2021.8.30、E-learning 2021.9.8-2022.3.31)</p> <p>・ 医薬品安全研修 (E-learning のみ 2021.12.13-2022.3.31)</p> <p>その他、新規採用者研修「リスクマネジメントについて」 (4月に開催。その後は随時)</p>	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>事故報告等の分析結果を現場へフィードバック</p> <p>医療従事者の医療事故防止に関する教育</p>	

事故防止のための基礎知識の提供  
事故報告書等から必要なマニュアルを作成  
インシデントサマリーに再発防止策を提案  
事故防止マニュアルの見直し  
GRM等による医療現場のラウンド  
院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布  
院外の事故情報の提供による注意喚起

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2 . 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項</li> <li>3 . 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針</li> <li>4 . 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5 . 院内感染症発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6 . 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7 . 抗菌薬の適正使用に関する基本方針</li> <li>8 . 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li> </ol>	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>( 1 ) 院内感染予防の方策及び監視に関すること。</li> <li>( 2 ) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること。</li> <li>( 3 ) 院内感染についての教育活動に関すること。</li> <li>( 4 ) 院内感染の調査に関すること。</li> <li>( 5 ) 感染制御部の運営に必要な事項に関すること。</li> <li>( 6 ) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項。</li> </ol>	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【令和 3 年度】</p> <p>e - ラーニングを基本とし、一部対面実施を併用して実施した。</p> <p>「新型コロナウイルスワクチンについて～分かってきたこと～」6/22～3/31</p> <p>「HIV/AIDS 出前研修」11/14（対面実施）、12/2～3/31</p> <p>「新型コロナウイルスワクチンについて～オミクロン株、追加接種（ブースター接種）の情報～」12/22～3/31</p> <p>「栄養ゼミナール『感染対策における栄養管理』『新しい栄養管理計画書とNST』」2/16～3/31</p> <p>「褥瘡対策に関する講演会」3/17（対面実施）、3/25～3/31</p> <p>【その他】</p> <p>新規採用者研修（随時開催）</p> <p>対象別研修（毎年）</p>	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( (有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>( 1 ) 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価</li> <li>( 2 ) ICTラウンドによる感染対策実施工動の確認と指導</li> <li>( 3 ) 職業感染防止対策のための計画・実施・改善</li> <li>( 4 ) 感染管理システムを活用した情報共有</li> <li>( 5 ) 感染制御担当者（ICM）による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底</li> <li>( 6 ) 抗菌薬の使用及び病原微生物分離状況の分析・評価に基づく抗菌薬適正使用の推進</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・ 研修の主な内容： 令和3年度実施 医療安全研修（医薬品安全管理研修 2021年12月-2022年3月 eラーニング形式） ・ 薬剤による転倒転落について</p>	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	
<p>・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1) 医薬品の採用 2) 医薬品情報の収集・管理・提供 3) 医薬品の購入管理 4) 外来および入院患者への医薬品の供給 5) 病棟における医薬品の管理 6) 入院患者への医薬品使用 7) ハイリスク薬の取り扱い 8) 院内製剤の取り扱い 9) 外来患者への情報提供と薬学的指導 10) 外来・中央診療施設の薬品管理 11) 放射性医薬品の安全管理・安全使用</p>	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： 新型コロナウイルス感染症に対するトシリズマブ注の適応外使用 COVID-19感染症患者に対して院内使用基準に準じて重症化を呈した患者に対して使用 (院内高難度新規医療技術等評価委員会にて審議・承認)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者(薬剤部長)に適宜報告するとともに、根拠資料(ガイドライン、文献等)を集積・保管する。 未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書その他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。 医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者(リスクマネージャーが兼務)の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	①・無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 8 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容： 有効性、安全性に関する事項、使用方法、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項</li> </ul>	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る計画の策定 ( ①・無 )</li> <li>機器ごとの保守点検の主な内容： 外観チェック、動作チェック、漏れ電流チェック、精度管理、バッテリー性能チェック</li> </ul>	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( ①・無 )</li> <li>未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 内視鏡的狭窄拡張術後に発症した食道肺癰に対する、血管内塞栓治療に用いられるプラグコイルである「IMPEDE塞栓プラグ（一般名称：中心循環系血管内塞栓促進用補綴材）」の適応外使用。</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器安全管理委員会での情報収集及び検討 定期点検時の点検項目や方法の見直し</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第 9 条の 2 0 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	○・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長（医療安全担当）が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○（ 6 名 ） ・ 無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報管理担当者が PMDA メディナビやメーカーからの情報、文献、新聞等から収集、整理し、緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや印刷物の配布を行う。電子カルテシステム内の医薬品情報 web 検索システムや院内業務支援ページより閲覧が可能。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も定期的に行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟担当および調剤担当の薬剤師が処方監査で、また薬剤師が常駐していない診療科等においてはリスクマネジャーが未承認等の医薬品の処方を把握している。対応内容は、担当副薬剤部長に集約し、薬剤部長（医薬品安全管理責任者）に適宜報告するとともに、エクセルファイルと根拠資料（ガイドラインや文献）をファイリングして、事例を集積している。また併用禁忌薬については医薬品情報管理担当者が部門システムを用いて定期的にリストアップし薬剤部長に報告している。今後は、電子カルテに JAPIC データベースを搭載し、病名からもチェックが可能なシステムを準備中である。</p> <p>・担当者の指名の有無（○・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：別紙のとおり</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （○・無）</p>	

<p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 ：医療安全管理者等による IC 監査を実施した。（年 3 回）</p> <p>主な指導内容： 説明文書・同意書をイメージファイリング化し、電子カルテに保管すること インフォームドコンセントの概要を電子カルテに記録すること</p>	
診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 各診療科の監査担当医が実施した診療録監査、インフォームドコンセント監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。</p> <p>主な指導内容：インフォームドコンセント実施時、経過記録への説明内容及び患者の理解度等の記載。検査、手術、麻酔に関する要点の経過記録への記載等</p>	
医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（２）名、兼任（１２）名 うち医師：専従（１）名、専任（２）名、兼任（４）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（１）名 うち看護師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（４）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容： （１）医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。 （２）医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。 （３）安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。 （４）インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。 （５）リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。 （６）医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。 （７）患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。 （８）医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。 （９）金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。 （１０）その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。</p>	

## 【モニタリングの具体例】

- ・入院患者に対する肺血栓塞栓症リスク評価と予防策の実施率
- ・注射薬投与時の PDA 認証の実施率
- ・ R R T コール報告
- ・病理診断レポートの未読/既読状況
- ・画像診断レポートの未読/既読状況

平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

## 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（6件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
  - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
  - (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

## 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（30件）、及び許可件数（26件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
  - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
  - (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

<p>入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 2 3 7 件</li> <li>・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 3 1 件</li> <li>・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>( 1 ) 医療に係る安全管理対策に関すること。</li> <li>( 2 ) 医療事故防止対策に関すること。</li> <li>( 3 ) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</li> <li>( 4 ) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</li> <li>( 5 ) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</li> <li>( 6 ) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</li> <li>( 7 ) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</li> <li>( 8 ) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</li> <li>( 9 ) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う</li> </ul> </li> </ul>
<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の特定機能病院等への立入り ( <input checked="" type="checkbox"/> ( 病院名：新潟大学医歯学総合病院 ) ・無 )</li> <li>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ ( <input checked="" type="checkbox"/> ( 病院名：浜松医科大学医学部附属病院 ) ・無 )</li> <li>・技術的助言の実施状況 特になし</li> </ul>
<p>当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況 患者相談室において GRM、事務職員が相談窓口となり対応している。窓口活動については院内にポスターを掲示しパンフレットを配置するとともに、金沢大学附属病院 Web サイトに掲載している。</li> </ul>
<p>職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況 「医療安全管理マニュアル改訂のポイント」 ( 対面開催日 2021.8.30、E-learning 2021.9.8-2022.3.31 ) 【項目】子どもたちの権利、インシデントレポート、内部通報窓口、医療事故発生時の緊急連絡体制、根本原因分析 ( RCA )、患者確認、手術におけるマーキングルール、カラーシリンジの使用基準、患者への説明/インフォームドコンセント、アナフィラキシーの予防と発生時の対応について、M&amp;M カンファレンス、転倒・転落対策</li> </ul>

(注) 前年度の実績を記載すること ( の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること )

<p>管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p>
<p>・研修の実施状況</p> <p>公益財団法人日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全責任者及び医療機器安全管理責任者が参加した。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること

<p>医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況</p>
<p>・第三者による評価の受審状況</p> <p>公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院3(3rdG:Ver.2.0)」を令和3年3月に受審</p> <p>・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況</p> <p>金沢大学附属病院 Web サイトにて公表</p> <p>・評価を踏まえ講じた措置</p> <p>補充的な審査を受審し、条件付認定となったため、令和4年6月に確認審査を受審、認定留保となった。再審査を受審予定。</p>

(注) 記載時点の状況を記載すること

13. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保  
 医療法施行規則第9条の23第1項第3号に規定する事項

医薬品安全管理責任者が指名した担当者

氏名	職名	担当
山本奈歩	薬剤師	医薬品情報管理担当者
原 祐輔	薬剤師	調剤担当
坪内 清貴	薬剤師	調剤担当
田中 祐子	薬剤師	調剤担当
長田 幸恵	薬剤師	調剤担当
橋本 さつき	薬剤師	調剤担当
板井 進悟	薬剤師	調剤担当
矢口 邦子	薬剤師	調剤担当
坂田 明子	薬剤師	調剤担当
辻 千明	薬剤師	調剤担当
磯田 和也	薬剤師	調剤担当
磯田 紗也加	薬剤師	調剤担当
三坂 恒	薬剤師	調剤担当
志村 裕介	薬剤師	調剤担当
大西 あゆみ	薬剤師	調剤担当
加藤彩香	薬剤師	調剤担当
中村 良恵	薬剤師	調剤担当
上田 里佳子	薬剤師	調剤担当
毛利 香菜	薬剤師	調剤担当
野田 佳加	薬剤師	調剤担当
二木 悠哉	薬剤師	調剤担当
谷島 優	薬剤師	調剤担当
居林 優輝	薬剤師	調剤担当
鈴木 拓也	薬剤師	調剤担当
石林 朋子	薬剤師	調剤担当
渋谷 成美	薬剤師	調剤担当
泉 実公子	薬剤師	調剤担当
松田 拓己	薬剤師	調剤担当
竹本 弘樹	薬剤師	調剤担当
西川 達也	薬剤師	調剤担当
橋本 佳奈	薬剤師	調剤担当
赤下 学	薬剤師	調剤担当
寺田 早苗	薬剤師	調剤担当
北間 基子	薬剤師	調剤担当

浅井 泰詞	薬剤師	病棟担当
高林 真貴子	薬剤師	病棟担当
中川 祐紀子	薬剤師	病棟担当
吉田 幸司	薬剤師	病棟担当
島田 拓弥	薬剤師	病棟担当
木村 円	薬剤師	病棟担当
下川 頌子	薬剤師	病棟担当
伊藤 ゆり子	薬剤師	病棟担当
東 昂翔	薬剤師	病棟担当
水野 ふみ	薬剤師	病棟担当
堀 祐貴	薬剤師	病棟担当
岡野 麻衣	薬剤師	病棟担当
岡本 綾菜	薬剤師	病棟担当
島田 萌子	薬剤師	病棟担当
上田 真子	薬剤師	病棟担当
金 俊孝	薬剤師	病棟担当
西澤 理愛	薬剤師	病棟担当
西山 由紀子	薬剤師	病棟担当
岡田 美佳	薬剤師	病棟担当

## 規則第 7 条の 2 の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

## 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容
  - (1) 人格が高潔で、学識が優れている者
  - (2) 医師免許を有している者
  - (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者  
 高度かつ先進的な医療を提供する特定機能病院の管理者として、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有するとともに次に掲げるいずれかの業務に従事した経験を有する者  
     医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者又は医療機器安全管理責任者の業務  
     医療安全管理委員会の構成員としての業務  
     医療安全管理部門における業務  
     その他病院全体に係る上記に準ずる業務
  - (4) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者  
 金沢大学附属病院又は金沢大学附属病院以外での組織管理経験があり、病院職員の意見反映に留意しつつ、医療を取り巻く様々な外的変化に適切に対応し、強いリーダーシップと経営手腕を持って病院経営にあたりるとともに、病院の管理者として適正な管理運営ができる者
  - (5) 金沢大学附属病院の基本理念及び基本方針を確実に遂行できる者
- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
 金沢大学附属病院Webサイトに掲載

## 規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無		(有)・無		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 ( を付 す )	選定理由	特別の関 係
大竹 茂樹	金沢大学(理事)		金沢大学附属病院候補者選考委員会規程第 3 条第 1 項第 1 号に基づく学長が指名する理事	(有)・無
中村 浩之	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域長)		同規程第 3 条第 1 項第 2 号に基づく役職指定	(有)・無
堀 修	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健学総合研究科長)		同規程第 3 条第 1 項第 3 号に基づく役職指定	(有)・無
田嶋 敦	金沢大学医薬保健研究域(先進予防医学研究科長)		同規程第 3 条第 1 項第 4 号に基づく役職指定	(有)・無
杉山 和久	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域医学系長)		同規程第 3 条第 1 項第 5 号に基づく役職指定	(有)・無
松永 司	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域薬学系長)		同規程第 3 条第 1 項第 6 号に基づく役職指定	(有)・無
宮地 利明	金沢大学医薬保健研究域(医薬保健研究域保健学系長)		同規程第 3 条第 1 項第 7 号に基づく役職指定	(有)・無
土屋 弘行	金沢大学医薬保健研究域(附属病院整形外科長)		同規程第 3 条第 1 項第 8 号に基づき選出された診療科長	(有)・無
高村 雅之	金沢大学医薬保健研究域(附属病院循環器内科長)		同規程第 3 条第 1 項第 8 号に基づき選出された診療科長	(有)・無
谷口 巧	金沢大学医薬保健研究域(附属病院手術部長、集中治療部長、麻酔部長)		同規程第 3 条第 1 項第 9 号に基づき選出された中央診療施設等の長	(有)・無
渡邊 真紀	金沢大学附属病院(看護部長)		同規程第 3 条第 1 項第 10 号に基づく役職指定	(有)・無

竹山富士男	金沢大学（病院部長）		同規程第 3 条第 1 項第 11 号に基づく役職指定	有・無
安田 健二	公益社団法人石川県医師会（会長）		同規程第 3 条第 1 項第 12 号に基づく有識者 公益社団法人石川県医師会あて推薦依頼を行い、当該組織から推薦された者	有 無
羽柴 厚	公益社団法人金沢市医師会（会長）		同規程第 3 条第 1 項第 12 号に基づく有識者 公益社団法人金沢市医師会あて推薦依頼を行い、当該組織から推薦された者	有 無
岡田 俊英	石川県立中央病院（院長）		同規程第 3 条第 1 項第 12 号に基づく有識者 金沢大学関連病院長会あて推薦依頼を行い、当該組織から推薦された者	有 無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 中期目標・中期計画に関する事項</p> <p>(2) 規程の制定又は改廃に関する事項</p> <p>(3) 予算及び執行並びに決算に関する事項</p> <p>(4) 自ら行う点検及び評価に関する事項</p> <p>(5) その他管理運営に関する事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>病院長が医局長会議（運営会議委員以外の全関係部署の代表者が出席）において、病院運営会議の内容を説明・報告し、運営会議委員又は医局長会議委員が各部署で周知している。</p> <p>会議資料は、金沢大学の教職員専用の会議資料管理システムで管理しており、関係者は常時閲覧可能となっている。また、運営会議の議事概要は、金沢大学附属病院職員が閲覧できる金沢大学附属病院業務支援Webシステムに掲載している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>金沢大学附属病院Webサイトに掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有(無)）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
蒲田 敏文		医師	附属病院長、検査部長、電子顕微鏡センター長、金大病院 CPD センター長
山下 太郎		医師	消化器内科長、肝臓センター長、炎症性腸疾患センター長、疾病予防センター長
篁 俊成		医師	内分泌・代謝内科長、糖尿病センター長、内分泌センター長
川野 充弘		医師	リウマチ・膠原病内科長
矢野 聖二		医師	呼吸器内科長、がんセンター長
高村 雅之		医師	副病院長、循環器内科長、ハートセンター長
坂井 宣彦		医師	腎臓内科長、血液浄化療法部長
宮本 敏浩		医師	血液内科長、造血・免疫細胞療法センター長
野村 英樹		医師	総合診療科長、総合診療部長
小野賢二郎		医師	脳神経内科長
菊知 充		医師	神経科精神科長、子どものこころの診療科長
和田 泰三		医師	小児科長

小坂 一斗		医師	放射線科長
高松 繁行		医師	放射線治療科長
松下 貴史		医師	皮膚科長
小室 明人		医師	形成外科長
竹村 博文		医師	心臓血管外科長
松本 勲		医師	呼吸器外科長、材料部長
稲木 紀幸		医師	副病院長、消化管外科長、研修医・専門医総合教育センター長
八木真太郎		医師	肝胆膵・移植外科長、臓器移植センター長
寺川 裕史		医師	乳腺外科長
酒井 清祥		医師	小児外科
土屋 弘行		医師	整形外科長
出村 諭		医師	脊椎・脊髄外科長
溝上 敦		医師	泌尿器科長
杉山 和久		医師	眼科長
吉崎 智一		医師	副病院長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科長
藤原 浩		医師	産科婦人科長、周産母子センター長、プレコンセプションケアセンター長
谷口 巧		医師	副病院長、麻酔科蘇生科長、手術部長、集中治療部長、麻酔部長、ME 機器管理センター長
中田 光俊		医師	副病院長、脳神経外科長
絹谷 清剛		医師	核医学診療科長、アイソトープ部長
川尻 秀一		歯科医師	歯科口腔外科長
八幡徹太郎		医師	リハビリテーション科長、リハビリテーション部長
岡島 正樹		医師	病院長補佐、救急科長、救急部長、救命センター長
池田 博子		医師	病理診断科長、病理部長
小林 聡		医師	放射線部長
山崎 宏人		医師	輸血部長
朝倉 英策		医師	高密度無菌治療部長
鷹取 元		医師	光学医療診療部長
薄井莊一郎		医師	冠動脈疾患治療部長
渡邊 淳		医師	遺伝診療部長、遺伝医療支援センター長
谷内江昭宏		医師	副病院長、医療安全管理部長
加畑 多文		医師	地域医療連携室長
岩田 恭宜		医師	病院長補佐、感染制御部長
森山 秀樹		医師	栄養管理部長
大坪公士郎		医師	外来化学療法センター長
島上 哲朗		医師	地域医療教育センター長
村山 敏典		医師	先端医療開発センター長、臨床開発部長
山田 圭輔		医師	緩和ケアセンター長
竹内 伸司		医師	がんゲノム医療センター長
川島 博子		医師	乳腺センター長
崔 吉道		薬剤師	病院長補佐、薬剤部長
辻 千芽		看護師	副病院長、看護部長
長瀬 啓介		医師	病院長補佐、経営企画部長
竹山富士男		事務職員	病院長補佐、病院部長
松浦 幸広		放射線技師	放射線部技師長

## 規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

## 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
金沢大学附属病院Webサイトに掲載
- ・ 規程の主な内容  
【金沢大学附属病院規程第 3 条～第 4 条】
  - ・ 病院長は本院を代表し、本院の経営及び管理運営等の業務を総括するとともに、職員等を指揮監督する。
  - ・ 病院長の任務は次のとおりとする。
    - (1) 本院の運営、管理及び経営に関すること。
    - (2) 診療部門長、診療科長、中央診療施設の長等の任命に関すること。
    - (3) 診療科及び各中央診療施設等への人員配置に関すること。
    - (4) 病院内組織の設置、廃止及び統合に関すること。
    - (5) 病床、診察室等の配分及び利用形態に関すること。
    - (6) 予算の院内配分に関すること。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
【金沢大学附属病院規程第 5 条】
  - ・ 副病院長 7 名（病院長の職務を補佐）  
医療安全 / 広報・地域医療連携 / 診療・経営 / 総務・人事 / 臨床教育 / 研究 / 看護をそれぞれ担当
  - 【金沢大学附属病院規程第 5 条の 2】
    - ・ 病院長補佐 5 名（病院長の指示する重要事項について病院長を補佐）  
法務・医療情報 / 薬剤 / 感染制御 / 救急医療 / 事務をそれぞれ担当
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
【人事】
  - ・ 副病院長は、運営会議の構成員のうちから病院長が指名し、学長が任命する。
  - ・ 病院長補佐は、病院長が任命する。
  - ・ 科長は、附属病院若しくは医学系の教授、准教授、講師又は助教で診療に従事する者又は附属病院に兼務する金沢大学の教授、准教授又は講師で病院長が認める者をもって充てる。
  - ・ 部長等は、附属病院若しくは医学系の教授で診療に従事する者又は附属病院に兼務する金沢大学の教授で病院長が認める者をもって充てる。ただし、やむを得ないときは、准教授、講師又は助教をもって充てることができる。
 【研修】
  - ・ 全国医学部長病院長会議主催の医師の働き方改革セミナーに病院長及び病院部長が参加しているほか、国立大学病院長会議及び学位授与機構主催の病院経営次世代リーダー養成塾に副病院長を参加させ、人材育成を図っている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況					①有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>( 1 ) 医療安全管理責任者，医療安全管理部門，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長(以下「病院長」という。)等から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>( 2 ) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>( 3 ) 前 2 号に掲げる業務について，その結果を公表すること。</p> <p>( 4 ) その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( ①有・無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( ①有・無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( ①有・無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( ①有・無 )</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>金沢大学附属病院 Web サイトに掲載している。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 ( 注 )					
氏名	所属	委員長 ( を付 す )	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
伊藤 透	金沢医科大学 病院	○	医療の質・安全 推進部長として 医療安全に関する 業務に従事して いるため	有・①無	1
麻生 小夜	金沢あおば法 律事務所		弁護士として法律 に関する専門知識 に基づき、業務を 行っているため	有・①無	1
和田 真由 美	血液疾患の患 者の会「萌の 会」		「萌の会」の代表 として活動し、医 療を受ける立場か ら意見を述べるこ とができるため	有・①無	2

( 注 ) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

## 規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・体制の整備状況及び活動内容 金沢大学内部監査において業務監査及び会計監査を定期的実施しており、附属病院も対象となっている。</li><li>・ 専門部署の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 内部規程の整備の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載</li></ul>

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 金沢大学経営協議会において、法人の経営に関する重要事項、予算の作成・執行及び決算に関する事項、組織及び運営の状況について自ら行う点検・評価に関する事項等を審議している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年 7 回（令和 3 年度実績） ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）（ 年 6 回（令和 3 年度実績） ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人金沢大学経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （ を付す ）	利害関係
和田 隆志	金沢大学学長	○	有・ <input type="radio"/> 無
大竹 茂樹	金沢大学理事・副学長		有・ <input type="radio"/> 無
中村 慎一	金沢大学理事・副学長		有・ <input type="radio"/> 無
塩川 達大	金沢大学理事・副学長		有・ <input type="radio"/> 無
三浦 要	金沢大学人間社会研究域長		有・ <input type="radio"/> 無
松本 宏一	金沢大学理工研究域長		有・ <input type="radio"/> 無
堀 修	金沢大学医薬保健研究域長		有・ <input type="radio"/> 無
蒲田 敏文	金沢大学附属病院長		<input checked="" type="radio"/> 有・無
有松 育子	元 国立教育政策研究所所長 元 文部科学省生涯学習政策局長		有・ <input type="radio"/> 無
大橋 徹二	コマツ代表取締役会長		有・ <input type="radio"/> 無
河田 悌一	関西大学東京センター長		有・ <input type="radio"/> 無
後藤ひとみ	北海道教育大学理事（非常勤）		有・ <input type="radio"/> 無
徳田 博	石川県副知事		有・ <input type="radio"/> 無
原田 明久	ファイザー株式会社代表取締役社長		有・ <input type="radio"/> 無
山田 啓之	金沢市副市長		有・ <input type="radio"/> 無
渡辺 芳人	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 所長		有・ <input type="radio"/> 無
山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長		有・ <input type="radio"/> 無
里見 進	日本学術振興会 顧問		有・ <input type="radio"/> 無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

## 規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 ( 年 0 件 )</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 職員宛てメールにて周知している。 医療安全研修の中で案内している。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

## 1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	①・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>金沢大学附属病院Webサイトにて情報発信を行っている。</p>	

## 2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	①・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム</li> <li>・ 高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム</li> <li>・ 悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとしての緩和ケアチーム</li> <li>・ 褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図る褥瘡対策チーム</li> <li>・ 院内感染に対する体制としての院内感染制御チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）</li> <li>・ 倫理的な問題を検討する場、解決困難な倫理的問題への医療者の相談対応・解決への支援を行う臨床倫理コンサルティングチーム</li> <li>・ 特定集中治療室に入室した患者に対し、総合的な離床の取組を実施するICU早期離床・リハビリテーションチーム</li> <li>・ 尿道カテーテルを挿入した患者に、適切な時期に尿道カテーテルを抜去し、包括的排尿ケアを行い、尿路感染症等の合併症を予防し患者の排尿自立を支援する排尿ケアチーム</li> </ul>	